

ユーザー マニュアル

WM55R WM65R WM85R

色と外観は製品によって異なる場合があります。本マニュアルの内容は性能の向上のために予告なく変更されることがあります。

本製品の 1 日の使用時間は、16 時間未満にしてください。本製品の 1 日の使用時間が 16 時間を超える場合、保証の対象外となることがあります。

目次

ご使用になる前に

安全のために	4
保管時	4
電気に関する注意事項	4
設置の際の注意事項	5
ご使用の際の注意事項	6
使用に関する注意事項	8

準備

内容物の確認	9
各部	10
WM55R / WM65R	10
WM85R	11
ポート	12
トレイ	13
WM55R / WM65R	13
WM85R	14
製品の設置前に（設置ガイド）	15
WM55R	15
WM65R	16
WM85R	16
ウォール マウントを設置する	17
ウォール マウントを設置する	17
ウォール マウント キットの仕様（VESA）	17

ネットワークへの接続	18
ネットワーク設定（有線）	18
ネットワーク設定（ワイヤレス）	20
WPS を使用	22

書き込み

「ロール」とは？	23
ペン モード	24
画面構成要素	24
描画	25
消去	25
ペンの太さと色の変更	25
ブラシ モード	26
画面構成要素	26
ブラシのモードと色の変更	27
ロールの管理	28
ロールエクスプローラー	29
ページビューア	30
メモのオン/オフ	31
選択ツールの使用	32

インポート

モバイル デバイスとの接続	34
Smart View や Screen Mirroring での接続	34
NFCタグによる接続	34
PC との接続	35
ケーブルによる接続	35
OPS による接続	36
Wireless Display 機能による接続	36
USB デバイスからのインポート	37
インターネットへの接続	37
インターネット機能を使用する前にお読みください	38
SAMSUNG WORKSPACE への接続	38
CISCO WEBEX への接続	38
ソース ウィンドウ	39
文書ビュー	40
画像ビュー	41
ビデオ ビュー	42

目次

エクスポート

電子メールの送信	44
印刷	45
Flip Printing Software のインストール	45
プリンターのセットアップ	45
USB デバイスへのエクスポート	47
画面の共有	48
ネットワークドライブからのエクスポート	49
モバイル デバイスへの送信	49

メニュー

接続	50
システム	58
映像	62
サポート	64

トラブルシューティング ガイド

問題と解決策	65
--------	----

仕様

全般	70
プリセット タイミング モード	72

付録

サムスン製品に関するお問合せ	73
有料サービスに関する責任（お客様の負担）	74
製品に異常がない場合	74
お客様の過失によって製品が損傷した場合	74
その他	74
残像の焼き付き防止	75
残像の焼き付きとは？	75
推奨される防止策	75
ライセンス	75

第 1 章 ご使用になる前に

安全のために

警告

指示に従わない場合には、重傷または死亡事故の原因となることがあります。

注意

指示に従わない場合には、ケガまたは物損事故の原因となることがあります。



禁止行為を示しています。



順守すべき行為を示しています。






保管時

強い光沢のある製品の場合、近くで UV 加湿器を使用すると製品表面に白いしみができることがあります。

 本製品内部の清掃が必要な場合は、サムスン電子ジャパンお客様相談ダイヤルまでお問い合わせください（別途作業費がかかります）。

電気に関する注意事項

警告

-  破損した電源コードまたはプラグ、あるいはがたつきのある電源ソケットを使用しないでください。
感電または火災の原因となることがあります。
-  複数の製品をひとつの電源ソケットで使用しないでください。
電源ソケットが過熱し火災が発生することがあります。
-  濡れた手で電源プラグに触れないでください。感電の原因となることがあります。
-  電源コードを無理に曲げたり引っ張ったり、または重い物を載せた状態にしないでください。
コードが破損して、火災や感電の原因となることがあります。
-  電源コードや製品を熱源の近くに置かないでください。
火災または感電の原因となることがあります。

- ❗ 電源プラグはグラグラしないよう最後まで差し込んでください。
しっかりと接続していない場合、火災の原因となることがあります。
- ❗ 電源プラグは、アースされた電源ソケットに接続してください（絶縁クラス 1 の機器のみ）。
感電またはケガの原因となることがあります。
- ❗ 電源プラグの先端や電源ソケットに付いたほこりは、乾いた布で取り除いてください。
火災の原因となることがあります。

注意

- ⊘ 製品の使用中に電源コードを抜かないでください。
感電により製品が破損することがあります。
- ❗ Samsung が提供している付属の電源コードを必ず使用してください。他の電気機器には使用しないでください。
火災または感電の原因となることがあります。
- ❗ 電源コードは、遮るものがない場所にある電源ソケットに接続してください。
問題が発生した場合は、電源コードを抜いて製品の電源をオフにする必要があります。
- ❗ 電源コードを電源ソケットから抜くときは、プラグ部分を持ってください。
感電または火災の原因となることがあります。

設置の際の注意事項

警告

- ⊘ ろうそく、虫除けまたはタバコを製品の上に置いたり、製品を熱源の近くに設置したりしないでください。
火災の原因となることがあります。
- ⊘ 製品を本棚やクローゼットなどの換気の悪い場所に設置しないでください。
内部温度が上昇し火災が発生することがあります。
- ⊘ 安定しないまたは振動する場所（不安定な棚、傾斜面など）に製品を設置しないでください。
 - 製品が落下して破損したり、ケガの原因となることがあります。
 - 振動の多い場所で製品を使用すると、製品が破損したり火災の原因となることがあります。
- ⊘ 製品を直射日光の当たる場所や、ストーブなどの熱源にさらされる場所に設置しないでください。
製品の寿命が短くなったり火災の原因となることがあります。
- ⊘ 製品をお子様手の届くところに設置しないでください。
 - 製品が落下してお子様のケガの原因となることがあります。
 - 製品の前部は重いため、水平で安定した面に設置してください。
- ⊘ 食用油（大豆油など）を使用すると、製品の破損や変形の原因となります。製品をキッチンやキッチン カウンターの近くに設置しないでください。
- ❗ 製品を壁に設置する場合は、専門の取付業者にご依頼ください。
 - 無資格で取り付けを行うと、ケガの原因となることがあります。
 - 認可されているキャビネットを必ず使用してください。
- ❗ 製品を設置するときには、換気のため壁から 10cm 以上離してください。
内部温度が上昇し火災が発生することがあります。

❗ 梱包用のビニール袋は、お子様の手の届かないところに置いてください。

お子様がビニール袋で窒息することがあります。

❗ 製品を車内に設置したり、ほこり、湿気（水切りなど）、油または煙にさらされる場所に設置したりしないでください。

火災または感電の原因となることがあります。

注意

❗ 製品の前面を下にして置かないでください。

画面が破損することがあります。

❗ 製品を移動させるときは落下に十分ご注意ください。

製品の故障やケガの原因となることがあります。

❗ 製品を置くときは丁寧に置いてください。

製品の故障やケガの原因となることがあります。

❗ 通常とは異なる場所（大量の細かいほこり、化学物質、極端な高温または低温にさらされる場所、湿気の多い場所、あるいは長期間にわたって製品を連続稼働させる必要のある場所）に製品を設置した場合には、製品性能に深刻な影響を与える可能性があります。

これらの場所に製品を設置する場合は、サムスン電子ジャパンお客様相談ダイヤルにご相談ください。

ご使用の際の注意事項

警告

❗ 製品内部は高電圧になっています。製品の分解、修理または改造は絶対に行わないでください。

- 火災または感電の原因となることがあります。
- 修理が必要な場合は、サムスン電子ジャパンお客様相談ダイヤルまでお問い合わせください。

❗ お子様は製品にぶら下がったりよじ登ったりしないようにしてください。

お子様のケガや場合によっては重傷の原因となることがあります。

❗ 製品が落下したりケースが破損した場合は、電源スイッチをオフにし、電源コードを抜いてから、サムスン電子ジャパンお客様相談ダイヤルまでご連絡ください。

そのまま使用し続けると、火災や感電の原因となることがあります。

❗ 重い物や、お子様のお気に入りの玩具や菓子などを製品の上に置かないでください。

お子様がこれらの玩具や菓子を取ろうとして重い物や製品自体が落下し、重傷の原因となることがあります。

❗ 電源コードなどのケーブルを使用して製品を引っ張らないでください。

ケーブルが破損して、製品の故障、感電または火災の原因となることがあります。

❗ 電源コードやその他のケーブルを引っ張って製品を持ち上げたり移動させたりしないでください。

ケーブルが破損して、製品の故障、感電または火災の原因となることがあります。

❗ テーブルクロスやカーテンで通気口を塞がないようにしてください。

内部温度が上昇し火災が発生することがあります。

❗ 金属性の物（箸、硬貨、ヘアピンなど）や可燃物（紙、マッチなど）を、通気口や入出力ポートなどから製品内に入れないでください。

- 水やその他の異物が製品内に入ったときには、電源をオフにし、電源コードを抜いてください。サムスン電子ジャパンお客様相談ダイヤルまでご連絡ください。
- 製品の故障、感電または火災の原因となることがあります。

- ❌ **水の入った容器（花瓶、コップ、瓶など）や金属性の物を製品の上に置かないでください。**
 - 水やその他の異物が製品内に入ったときには、電源をオフにし、電源コードを抜いてください。サムスン電子ジャパンお客様相談ダイヤルまでご連絡ください。
 - 製品の故障、感電または火災の原因となることがあります。
- ❗ **製品を移動するときは、電源スイッチをオフにして、電源ケーブルなどの接続ケーブルをすべて取り外してから移動してください。**

コードが破損して、火災や感電の原因となることがあります。
- ❗ **製品から異音、焦げくさい臭い、または煙が発生した場合は、直ちに電源コードを抜いてサムスン電子ジャパンお客様相談ダイヤルまでご連絡ください。**

感電または火災の原因となることがあります。
- ❗ **落雷や雷雨があるときは、製品の電源をオフにして電源ケーブルを抜いてください。**

火災または感電の原因となることがあります。
- ❗ **製品の上に物を落としたり、衝撃を与えないでください。**

火災または感電の原因となることがあります。
- ❗ **ガス漏れが発生した場合は、製品および電源プラグに触れないようにして、直ちに換気を行ってください。**

火花が発生して、爆発または火災の原因となることがあります。
- ❗ **可燃性のスプレーや物を製品の近くで使用したり、製品の近くに置いたりしないでください。**

爆発または火災の原因となることがあります。

注意

- ❌ **加湿器やコンロを製品の周辺で使用しないでください。**

火災または感電の原因となることがあります。
- ❌ **電源を長時間オンの状態にするとディスプレイが高温になるため、ディスプレイには触れないようにしてください。**
- ❌ **製品の上に重い物を置かないでください。**

製品の故障やケガの原因となることがあります。
- ❗ **静止画像を長時間表示したまま放置すると、残像の焼き付きや欠陥画素の原因になることがあります。**

長期間にわたって本製品を使用しない場合は、省電力モードをオンにするか動画のスクリーンセーバーを設定してください。
- ❗ **休暇などで長期間製品を使用しない場合には、電源コードを電源ソケットから外してください。**

ほこりの堆積と温度上昇により、火災、感電または漏電が発生することがあります。
- ❗ **製品に適した解像度および周波数を使用してください。**

視力低下の原因となることがあります。
- ❗ **画面を近すぎる位置から長期間見続けると、視力が低下することがあります。**
- ❗ **製品を使用するときには、1時間ごとに5分以上は目を休めるようにしてください。**

疲れ目が緩和されます。
- ❗ **細かな付属品は、お子様の手の届かないところに保管してください。**

使用に関する注意事項

付属のペンに 2.5 kg を超える荷重をかけて使用すると、保護ガラスにキズがつくことがありますので、ご注意ください。

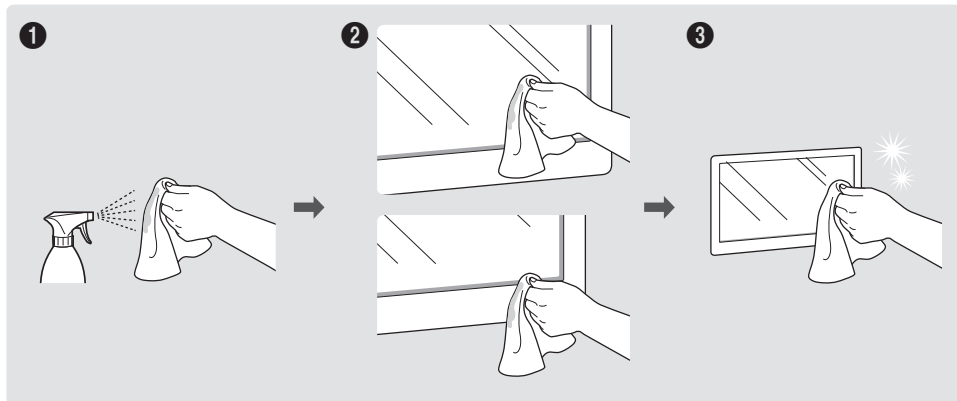
付属のペン以外のボールペンを使用すると、インクで汚れたり、破損したりすることがありますので、ご注意ください。

画面の破損を防ぐため、汚れたブラシは使用しないでください。

- ✎ 付属のペンを使用することをお勧めします。ペン以外の先の尖ったものは、使用しないでください。
- ✎ 保護ガラスに付属のペンのほこりや汚れが残っている場合は、以下の手順を参考にして清掃してください。

外装とディスプレイの清掃

濡らした柔らかい布で拭いた後に、乾いた布で拭いてください。



第2章 準備

内容物の確認

- ✎ 内容物が不足している場合は、製品の購入先にお問い合わせください。
- ✎ 付属品の外観は図とは異なることがあります。
- ✎ WMR スタンドまたはウォール マウント (別売) の設置ガイドを参照してください。



クイック セットアップ ガイド



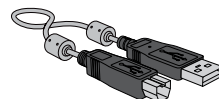
保証書
(一部の地域では利用できません)



規制ガイド



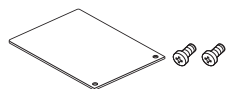
電源コード



USB ケーブル



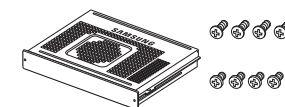
タッチ ペン x 2



カバー端子、ネジ (M4 x L10) x 2
(対応モデル: WM55R, WM65R)



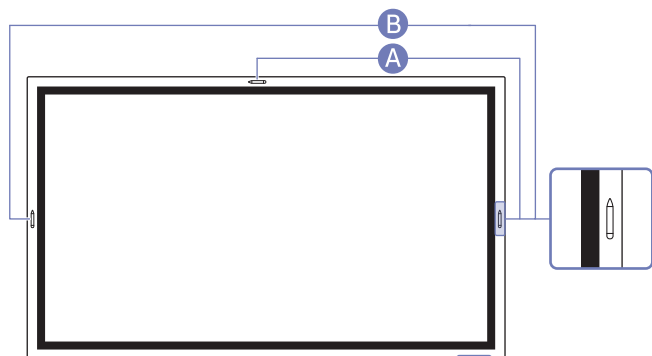
カバー ケーブル、ネジ (M4 x L10)
(対応モデル: WM55R, WM65R)



OPS ケース、ネジ (M4 x L8) x 4、ネジ (M3 x L6) x 4
(対応モデル: WM85R)

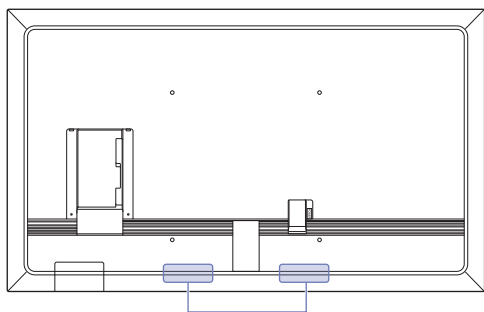
各部

WM55R / WM65R




電源インジケータ

Power ボタン



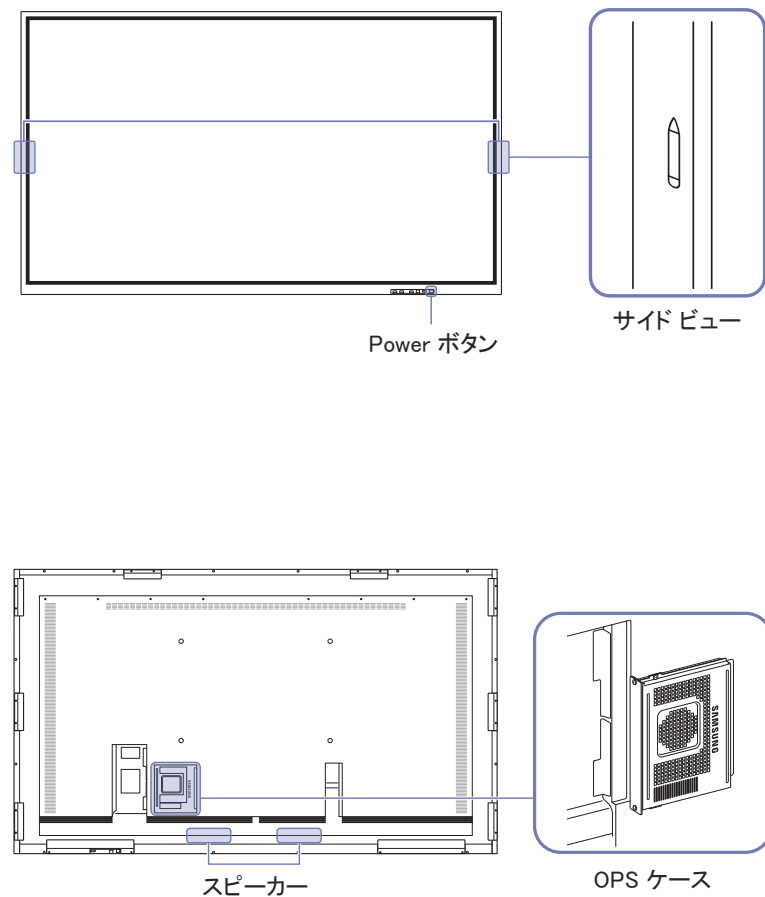
スピーカー








✎ 部品の色および形状は、図示されているものとは異なる場合があります。仕様は、品質向上のために予告なく変更されることがあります。

各部	説明
Power ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ボタンを長押しすると、本製品がオフになります。 ✎ 本製品がオフになると、電源ランプが点灯します。 ✎ 本製品がオンになると、電源ランプが消灯します。 書き込みモードで電源ボタンを短く押すと、スクリーンセーバーモードに切り替わります。 PIP画面が全画面モードの場合、電源ボタンを押すと調整メニューが表示されます。もう一度押すと非表示になります。
	<ul style="list-style-type: none"> ペンは磁石式です。印のある場所に貼り付けて保管できます。 ✎ A : WM55R, B : WM65R

WM85R

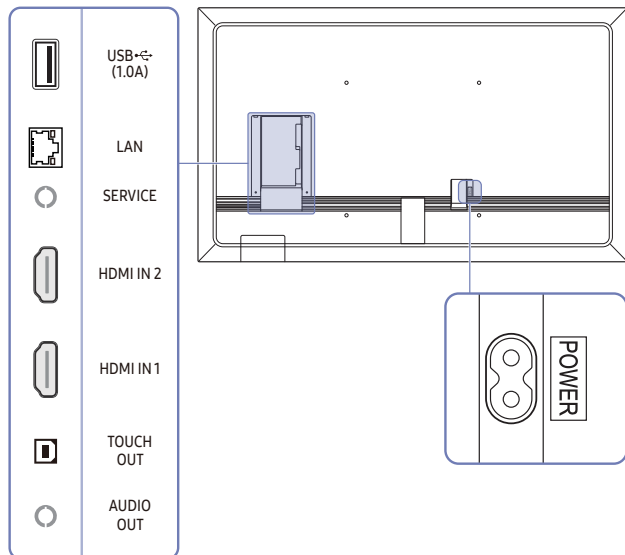
 部品の色および形状は、図示されているものとは異なる場合があります。仕様は、品質向上のために予告なく変更されることがあります。



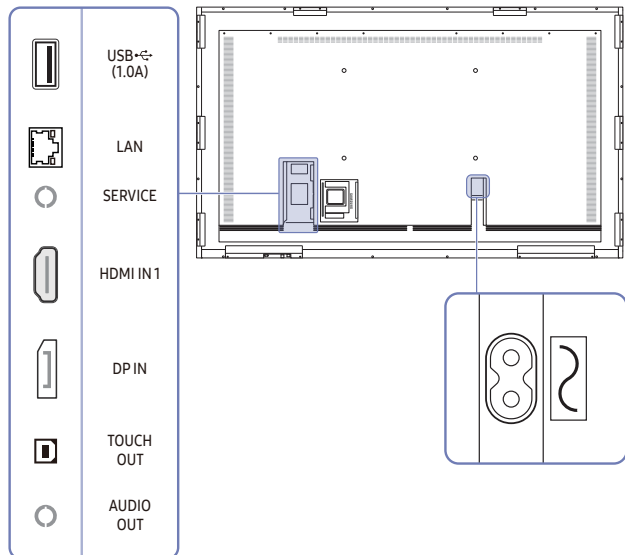
各部	説明
Power ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ボタンを長押しすると、本製品がオフになります。 <ul style="list-style-type: none">  本製品がオンになると、電源ランプが点灯します。  本製品がオフになると、電源ランプが消灯します。 書き込みモードで電源ボタンを短く押すと、スクリーンセーバーモードに切り替わります。 PIP画面が全画面モードの場合、電源ボタンを押すと調整メニューが表示されます。もう一度押すと非表示になります。
	<p>ペンは磁石式です。印のある場所に貼り付けて保管できます。</p>
OPS ケース	<p>パッケージに付属の OPS ケースをセットに接続し、標準の OPS モジュールをケースに挿入します。OPS モジュールは別売りです。</p> <p> 注意: OPS モジュールを挿入する前に、必ず本製品から電源ケーブルを外して、完全に電源を遮断してください。</p> <ul style="list-style-type: none">  OPS とは、Intel Open Pluggable Specification のことです。  OPS ケースを装着する必要がある場合は、必ず製品よりも先に OPS ケースを装着してください。  OPS の電源: 19V/3.7A

ポート

WM55R / WM65R



WM85R

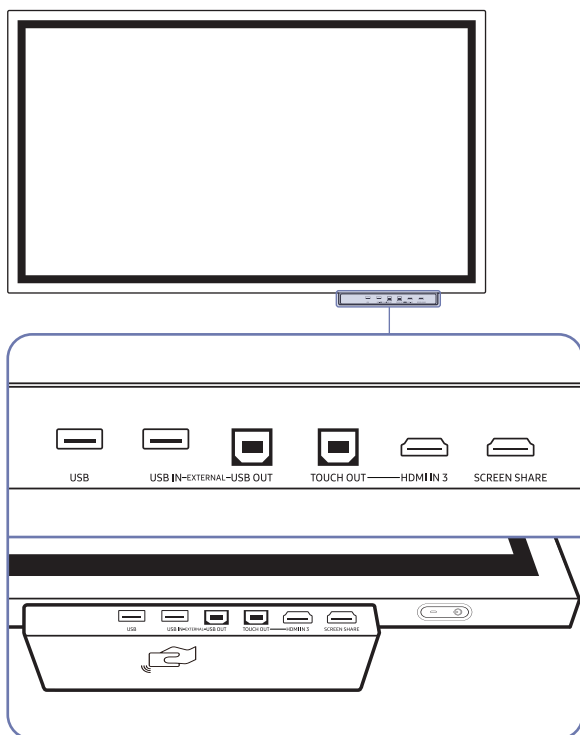


✎ 部品の色および形状は、図示されているものとは異なる場合があります。仕様は、品質向上のために予告なく変更されることがあります。

ポート	説明
USB (1.0A)	<p>USB メモリ デバイスに接続します。</p> <p>✎ 本製品のUSBポートは、最大1.0Aの定電流に対応しています。最大値を超えると、USBポートが動作しない場合があります。</p>
LAN	<p>LAN ケーブルを使用してネットワークに接続します。(100 Mbps)</p> <p>✎ 接続には カテゴリー 7 (*STP タイプ) のケーブルをご使用ください。 *Shielded Twist Pair.</p>
SERVICE	<p>サービス技術者が使用します。</p> <p>✎ このポートはサービスの目的のみに使用され、ユーザー機能はありません。ケーブルをこのポートに接続しないでください。</p>
HDMI IN 2	<p>HDMI ケーブルを使用してソース機器と接続します。</p> <p>✎ WM55R / WM65R モデルのみ</p>
HDMI IN 1	<p>HDMI ケーブルを使用してソース機器と接続します。</p>
DP IN	<p>DP ケーブルを使用して入力信号デバイスと接続します。</p> <p>✎ WM85R モデルのみ。</p>
TOUCH OUT	<p>HDMI IN 1 または HDMI IN 2 ポート経由で接続された PC 画面のタッチ操作を行うことができます。本製品背面の TOUCH OUT ポートと PC を付属の USB ケーブルで接続します。</p>
AUDIO OUT	<p>オーディオ ケーブルを通じてオーディオ デバイスに音声を出力します。</p>


トレイ

WM55R / WM65R



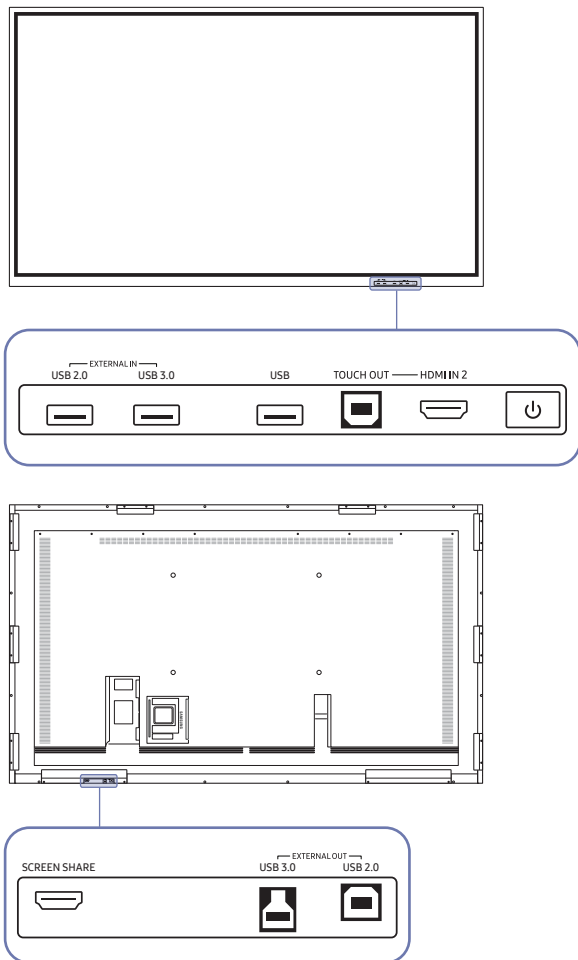
✎ トレイは別売りです。ご購入の際は、販売店にお問い合わせください。

✎ 部品の色および形状は、図示されているものとは異なる場合があります。仕様は、品質向上のために予告なく変更されることがあります。

ポート	説明
USB	USB メモリ デバイスに接続します。
USB IN	USB で PC と接続できます。
USB OUT	1 本製品の USB OUT ポートとパソコンの USB ポートを USB ケーブルで接続します。 2 USB IN ポートに USB ストレージ デバイスを挿入します。 3 トレイに接続した USB デバイスを PC から確認できます。
TOUCH OUT	HDMI IN 3 ポート経由で接続された PC 画面のタッチ操作を行うことができます。 TOUCH OUT ポートと PC を付属の USB ケーブルで接続します。
HDMI IN 3	外部ソースからの入力を表示するための HDMI 端子です。
SCREEN SHARE	外部ディスプレイに接続するための HDMI 端子です。
	<ul style="list-style-type: none">モバイル デバイスを NFC パッドにタグで接続します。<ul style="list-style-type: none">✎ 書き込みモードでは、NFC タグにより、モバイル デバイスで Smart View や Screen Mirroring を自動的に行うことができます。✎ この機能は、Samsung 製モバイル デバイスの Android 8.0 Oreo バージョン以降にのみ対応しています。NFC カードを NFC パッドにタグ接続すると、電子メール アドレスを自動入力できます。<ul style="list-style-type: none">✎ 電子メール作成中に、エンコードされた NFC タグからメール アドレスを読み取ると、自動的に電子メール アドレスが入力されます。✎ NFC カードへの電子メール アドレス入力方法については、「電子メールの送信」をご覧ください。

WM85R

✎ 部品の色および形状は、図示されているものとは異なる場合があります。仕様は、品質向上のために予告なく変更されることがあります。



ポート	説明
EXTERNAL IN (USB 2.0, USB 3.0)	USB で PC と接続できます。
EXTERNAL OUT (USB 2.0, USB 3.0)	1 接続した PC と EXTERNAL OUT (USB 2.0, USB 3.0) との接続には、USB ケーブルを使用します。 2 USB デバイスを EXTERNAL IN (USB 2.0, USB 3.0) に接続します。 3 USB デバイスと PC の間で接続が確立されます。
USB	USB メモリ デバイスに接続します。
TOUCH OUT	HDMI IN 2 ポート経由で接続された PC 画面のタッチ操作を行うことができます。 TOUCH OUT ポートと PC を付属の USB ケーブルで接続します。
HDMI IN 2	外部ソースからの入力を表示するための HDMI 端子です。
SCREEN SHARE	外部ディスプレイに接続するための HDMI 端子です。

製品の設置前に（設置ガイド）

本製品は壁掛けが可能です。専用の Samsung スタンド (WM55R 用) とウォール マウント (WM65R 用) は別売りです。

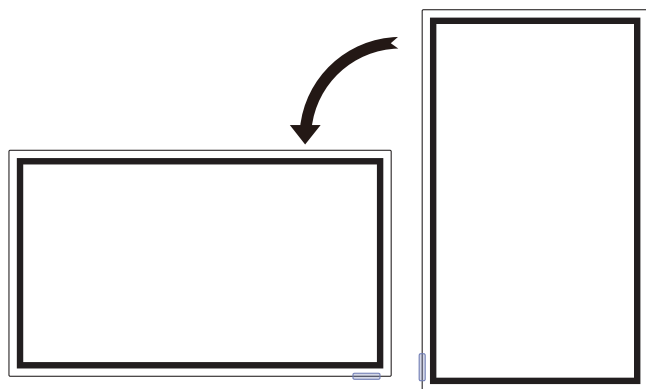
✎ 本製品の正面を上にして設置・使用しないでください。タッチ機能が正常に動作しない場合があります。

WM55R

回転

✎ 詳細は、サムスン電子ジャパンお客様相談ダイヤルにお問い合わせください。

- 本製品を横向きモードで使用する場合は、反時計回りに回し、回した後に電源ランプが右にあることを確認してください。



換気

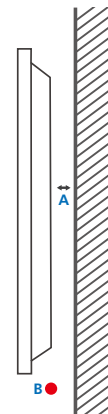
✎ 詳細は、サムスン電子ジャパンお客様相談ダイヤルにお問い合わせください。

垂直壁面への設置

A 15 mm 以上

B 周囲温度: 35 ° C 以下

✎ 製品を垂直な壁面に設置する場合、換気、および周囲温度を 35 ° C 未満に維持するために、製品と壁面との間に 15 mm 以上の隙間をあげてください。



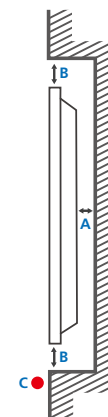
凹凸のある壁面への設置

A 15 mm 以上

B 25 mm 以上

C 周囲温度: 35 ° C 以下

✎ 製品を凹凸のある壁面に設置する場合、換気のために製品と壁面との間に上記と同じ隙間をあげ、周囲温度を 35 ° C 未満に維持するようにしてください。



WM65R

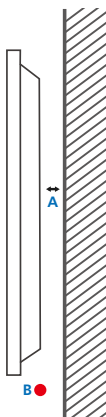
換気

✎ 詳細は、サムスン電子ジャパンお客様相談ダイヤルにお問い合わせください。

垂直壁面への設置

A 0 mm 以上

B 周囲温度: 35 ° C 以下



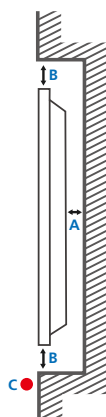
凹凸のある壁面への設置

A 0 mm 以上

B 25 mm 以上

C 周囲温度: 35 ° C 以下

✎ 製品を凹凸のある壁面に設置する場合、換気のために製品と壁面との間に上記と同じ隙間をあげ、周囲温度を 35 ° C 未満に維持するようにしてください。



WM85R

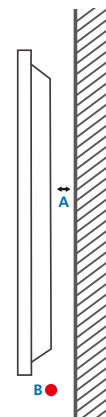
換気

✎ 詳細は、サムスン電子ジャパンお客様相談ダイヤルにお問い合わせください。

垂直壁面への設置

A 15 mm 以上

B 周囲温度: 35 ° C 以下



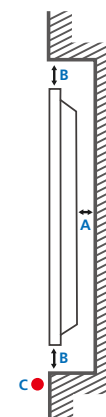
凹凸のある壁面への設置

A 15 mm 以上

B 25 mm 以上

C 周囲温度: 35 ° C 以下

✎ 製品を凹凸のある壁面に設置する場合、換気のために製品と壁面との間に上記と同じ隙間をあげ、周囲温度を 35 ° C 未満に維持するようにしてください。



ウォール マウントを設置する

ウォール マウントを設置する

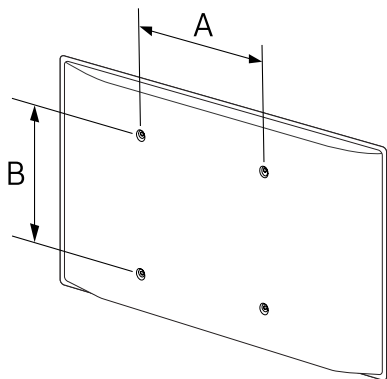
- 本製品は、ウォール マウント キットを使用して壁に設置することができます。
- ウォール マウントの設置に関する詳細は、ウォール マウントに付属のマニュアルを参照してください。
- ウォール マウント ブラケットを設置する際には、技術者に連絡してサポートを受けることをお勧めします。
- Samsung はお客様自身によるウォール マウント設置の結果発生した本製品の損傷および人身への被害について一切の責任を負いません。

ウォール マウント キットの仕様 (VESA)

 床に対して垂直になるように、ウォール マウントをしっかりと壁に取り付けます。

本製品を他の壁の場所に設置する場合は、最寄りの代理店にお問い合わせください。

本製品を傾斜のある壁に設置すると、落下して大怪我につながる場合があります。



- Samsung 製ウォール マウント キットには、詳細な設置マニュアルと、組み立てに必要な各部品が同梱されています。
- 標準以上の長さのネジ、および VESA 規格のネジ仕様に適合しないネジはご使用にならないでください。長すぎるネジは、本製品の内部を傷つける恐れがあります。
- VESA 規格のネジ仕様に適合していないウォール マウントの場合、ウォール マウントの仕様によってネジの長さが異なることがあります。
- ネジはきつく締めすぎないようにしてください。本製品の損傷や落下につながり、ケガを招く恐れがあります。Samsung はこれらの事故に関して一切責任を負いません。
- VESA 規格に適合しないウォール マウントや指定外のウォール マウントをご使用の場合、および製品の設置説明書に従わなかった場合に生じた製品の損傷や人身に対する被害について Samsung は責任を負いません。
- 本製品を壁に取り付ける際には、必ず 2 人以上で行ってください。(82 インチ以上のモデルの場合は、4 人以上で行ってください)
- ウォール マウント キットの標準寸法は下表のとおりです。

モデル名	VESA 規格のネジ穴仕様 (A * B) [ミリ]	標準ネジ	個数
WM55R	400 x 400	M8	4
WM65R			
WM85R	600 x 400		

 本製品の電源が入っている状態でウォール マウント キットを設置しないでください。感電による被害につながる恐れがあります。

ネットワークへの接続

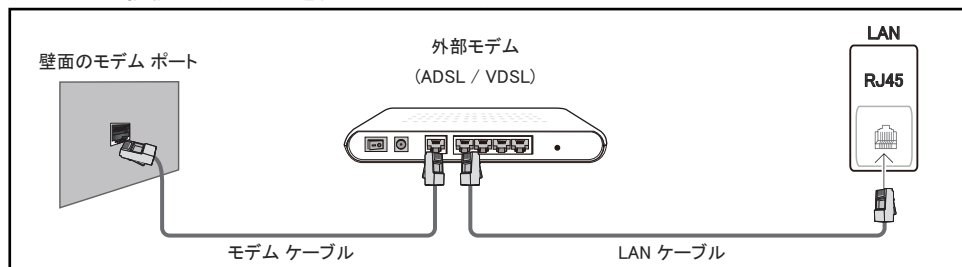
✎ 接続用部品は、製品によって異なる場合があります。

ネットワーク設定（有線）

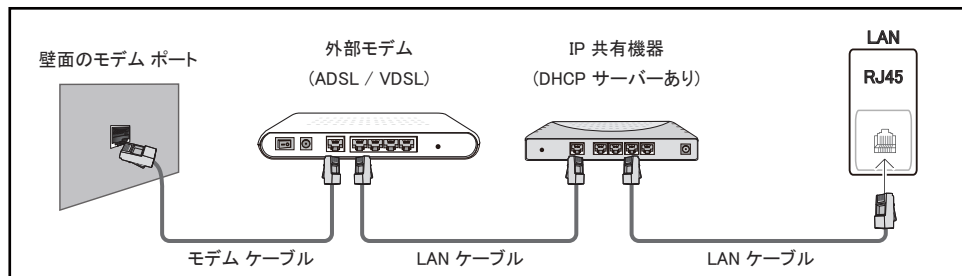
有線ネットワークに接続する

ケーブル経由で本製品を LAN に接続する方法として、以下の 3 つの方法があります。

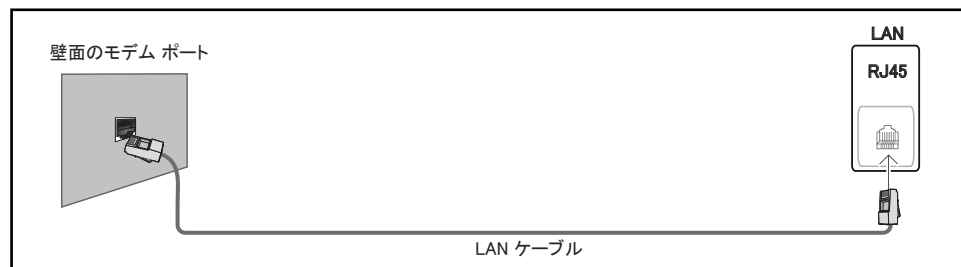
- LAN ケーブルを使用して本製品の背面にある LAN ポートと外部モデムとを接続し、本製品を LAN に接続します。下図を参照してください。



- 本製品の背面にある LAN ポートと外部モデムに接続されている IP 共有機とを接続し、本製品を LAN に接続します。接続には LAN ケーブルをご使用ください。下図を参照してください。



- ご使用のネットワーク構成によっては、LAN ケーブルを使用して直接本製品の背面にある LAN ポートと壁にあるネットワーク接続用の差し込み口とを接続し、本製品を LAN に接続することができます。下図を参照してください。壁にあるネットワーク接続用の差し込み口は、ご自宅のモデムまたはルーターに接続されています。



動的ネットワークをご使用の場合は、DHCP（動的ホスト設定プロトコル）に対応している ADSL モデムやルーターを使用してください。DHCP に対応しているモデムやルーターをご使用の場合、本製品がインターネットに接続するために必要な IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、および DNS 値は自動的に取得されるため、手動で入力する必要がありません。ホームネットワークのほとんどは動的ネットワークです。

ネットワークによっては固定 IP アドレスを必要とするものもあります。固定 IP アドレスを必要とする場合、ネットワーク接続をセットアップする際に、本製品のケーブル設定画面から IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、および DNS 値を手動で入力する必要があります。IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、および DNS 値は、ご契約のインターネット サービス プロバイダ (ISP) にお問い合わせの上、入手してください。

Windows コンピュータをご使用の場合、コンピュータからこれらの設定値を入手することもできます。

- ✎ ご使用のネットワークが固定 IP アドレスを必要とする場合、DHCP 対応の ADSL モデムを使用することも可能です。
- ✎ DHCP 対応の ADSL モデムでは固定 IP アドレスもご使用になれます。



ソフトウェア アップグレードの実行など、インターネット サービスに使用するネットワーク接続を設定します。

自動 ネットワーク設定を開く(有線)

LAN ケーブルを使用してネットワークに接続します。

必ず LAN ケーブルを先に接続してください。

自動セットアップの方法

- 1 **ネットワーク設定を開く** ページで **ネットワークの種類** を **有線** に設定します。
- 2 ネットワーク テスト画面が表示されるので、ネットワーク接続を確認します。
接続が確認されると、「**成功! 機器はインターネットに接続しています。インターネットに接続しています。オンライン サービスの使用に問題がある場合は、インターネット サービス プロバイダーにお問い合わせください。**」とメッセージが表示されます。
 接続プロセスが失敗するときは、LAN ポートの接続を確認してください。
 自動プロセスでネットワーク接続の値を検出できない場合、または接続を手動で設定する場合、次のセクション (Open Network Settings の手動設定 (有線)) に進みます。

手動 ネットワーク設定を開く(有線)

作業環境によっては静的 IP アドレスが使用されていることがあります。


その場合は、ネットワーク管理者に IP アドレス、サブネット マスク、ゲートウェイおよび DNS サーバー アドレスを問い合わせてください。それらの値を手動で入力します。

ネットワーク接続値の取得

ほとんどの Windows コンピュータでネットワーク接続値を見るには、次の手順を行います。

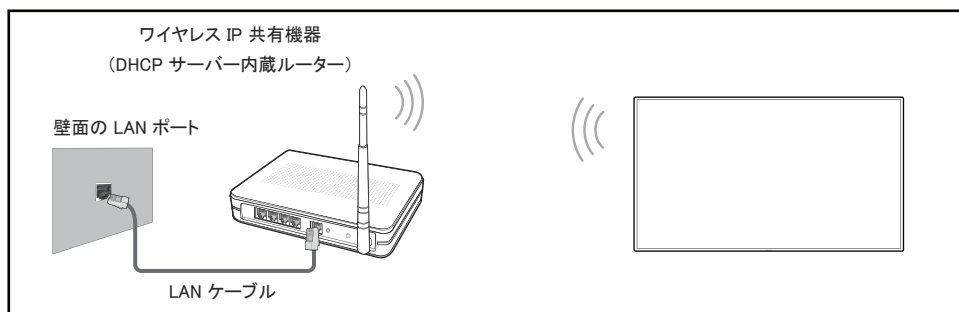
- 1 画面の右下にあるネットワーク アイコンを右クリックします。
- 2 ポップアップ メニューが表示されるので、ステータスをクリックします。
- 3 ダイアログが表示されるので、Support タブをクリックします。
- 4 Support タブで Details ボタンをクリックします。ネットワーク接続値が表示されます。

手動セットアップの方法

- 1 **ネットワーク設定を開く** ページで **ネットワークの種類** を **有線** に設定します。
- 2 ネットワーク テスト画面が表示され、検証プロセスが開始されます。**キャンセル** を押します。検証プロセスが停止します。
- 3 ネットワーク接続画面の **IP 設定** を選択します。**IP 設定** 画面が表示されます。
- 4 上部のフィールドを選択し、**IP 設定を手動で入力** に設定します。**IP アドレス** の各フィールドの入力作業を繰り返します。
 **IP 設定** を **手動で入力** に設定すると、**DNS 設定** が自動的に **手動で入力** に変更されます。
- 5 入力したら、ページ下部の **OK** を選択します。ネットワーク テスト画面が表示され、検証プロセスが開始されます。
- 6 接続が確認されると、「**成功! 機器はインターネットに接続しています。インターネットに接続しています。オンライン サービスの使用に問題がある場合は、インターネット サービス プロバイダーにお問い合わせください。**」とメッセージが表示されます。

ネットワーク設定(ワイヤレス)

ワイヤレス ネットワークに接続する



Samsung では、IEEE 802.11n のご使用をお勧めしています。ネットワーク接続を通じて動画を再生する場合、動画がなめらかに再生されないことがあります。

✎ 未使用のチャンネルをワイヤレス IP 共有機に割り当ててください。ワイヤレス IP 共有機に割り当てたチャンネルが別の周辺機器によって使用されている場合、競合による通信障害が生じます。

✎ 本製品が対応しているワイヤレス ネットワークのセキュリティプロトコルは以下のとおりです。

Pure High-throughput (Greenfield) 802.11n モードを選択し、お使いのアクセス ポイント ルーターまたはワイヤレス ルーターの暗号化方式を WEP、TKIP または TKIP AES (WPS2Mixed) に設定して接続する場合、Samsung 製品は、新しい Wi-Fi の認証規格に準拠しません。

✎ ご使用のワイヤレス ルーターが WPS (Wi-Fi Protected Setup) に対応している場合、PBC (プッシュボタン) または PIN (個人暗証番号) を利用してネットワークに接続することができます。どちらの接続方式を利用しても、WPS は自動的に SSID と WPA キーを設定します。

✎ 接続方法: ワイヤレス ネットワーク接続をセットアップするには、以下の 3 つの方法があります。

自動設定 (自動ネットワーク検索機能を使う)、手動設定、**WPS を使用**

✎ 本製品は、Enterprise WPA2 (TLS/TTLS/PEAP) に対応しています。

自動ネットワーク設定 (ワイヤレス)

ほとんどのワイヤレス ネットワークは、ネットワークにアクセスする装置を必要とするセキュリティ システムを選択肢として備え、アクセス キーまたはセキュリティ キーと呼ばれる暗号化セキュリティコードを伝送します。このセキュリティ キーはパス フレーズに基づいていて、ワイヤレス ネットワークのセキュリティ設定の際に、一般に単語または一連の文字および特定の長さの数字を入力するように要求されます。この方法のネットワーク接続設定を使用し、かつワイヤレス ネットワークにセキュリティ キーが用いられている場合には、自動または手動設定プロセス中にパス フレーズを入力する必要があります。

自動セットアップの方法

- 1 **ネットワーク設定を開く** ページで **ネットワークの種類** を **無線 (ワイヤレス)** に設定します。
- 2 **ネットワーク** 機能により、使用可能なワイヤレス ネットワークが検索されます。検索が完了すると、使用可能なネットワークの一覧が表示されます。
- 3 ネットワークのリストで、ネットワークを選択します。
 - ✎ 目的のワイヤレス ルーターが表示されない場合は、**更新** を押して再度検索してください。
 - ✎ 再試行後もルーターが見つからない場合は、**ネットワークの追加** を選択してください。
- 4 **(AP 名) のパスワードを入力してください**。画面が表示されるのでステップ 5 に進むか、またはセキュリティのないワイヤレス ルーターを選んだ場合にはステップ 7 に進んでください。
- 5 ルーターにセキュリティがある場合は、**(AP 名) のパスワードを入力してください**。(セキュリティ キーまたは PIN) を入力します。
- 6 終わったら、**完了** を選択します。ネットワーク接続画面が表示され、検証プロセスが開始されます。
 - ✎ ルーターとの接続は確立されますが、インターネットにはアクセスできません。この場合、ご契約のインターネット サービス プロバイダーにお問い合わせください。
- 7 接続が確認されると、「**成功! 機器はインターネットに接続しています。インターネットに接続しています。オンライン サービスの使用に問題がある場合は、インターネット サービス プロバイダーにお問い合わせください。**」とメッセージが表示されます。

手動ネットワーク設定（ワイヤレス）

作業環境によっては静的 IP アドレスが使用されていることがあります。

その場合は、ネットワーク管理者に IP アドレス、サブネット マスク、ゲートウェイおよび DNS サーバー アドレスを問い合わせてください。それらの値を手動で入力します。

ネットワーク接続値の取得

ほとんどの Windows コンピュータでネットワーク接続値を見るには、次の手順を行います。

- 1 画面の右下にあるネットワーク アイコンを右クリックします。
- 2 ポップアップ メニューが表示されるので、ステータスをクリックします。
- 3 ダイアログが表示されるので、Support タブをクリックします。
- 4 Support タブで Details ボタンをクリックします。ネットワーク接続値が表示されます。

手動セットアップの方法

- 1 **ネットワーク設定を開く** ページで **ネットワークの種類** を **無線（ワイヤレス）** に設定します。
- 2 **ネットワーク** 機能により、使用可能なワイヤレス ネットワークが検索されます。検索が完了すると、使用可能なネットワークの一覧が表示されます。
- 3 ネットワークのリストで、ネットワークを選択します。
 - ✎ 目的のワイヤレス ルーターが表示されない場合は、**更新** を押して再度検索してください。
 - ✎ 再試行後もルーターが見つからない場合は、**停止** ボタンを押してください。**ネットワークの追加** ボタンが表示されます。
- 4 **(AP 名) のパスワードを入力してください**。画面が表示されるのでステップ 5 に進むか、またはセキュリティのないワイヤレス ルーターを選んだ場合にはステップ 7 に進んでください。
- 5 ルーターにセキュリティがある場合は、**(AP 名) のパスワードを入力してください**。(セキュリティキーまたは PIN) を入力します。
- 6 終わったら、**完了** を選択します。ネットワーク接続画面が表示され、検証プロセスが開始されます。
- 7 ネットワーク接続の試行中に **キャンセル** を選択します。これにより接続が停止します。
- 8 ネットワーク接続画面の **IP 設定** を選択します。**IP 設定** 画面が表示されます。
- 9 上部のフィールドを選択して、**IP 設定を手動で入力** に設定します。**IP アドレス** のすべてのフィールドに対してこの入力プロセスを繰り返します。
 - ✎ **IP 設定** を **手動で入力** に設定すると、**DNS 設定** が自動的に **手動で入力** に変更されます。
- 10 入力したら、ページ下部の **OK** を選択します。ネットワーク テスト画面が表示され、検証プロセスが開始されます。
- 11 接続が確認されると、「**成功! 機器はインターネットに接続しています。インターネットに接続しています。オンライン サービスの使用に問題がある場合は、インターネット サービス プロバイダーにお問い合わせください。**」とメッセージが表示されます。

WPS を使用

WPS を使用 を使用したセットアップ方法

ルーターに **WPS を使用** ボタンがある場合は、次の手順を行います。

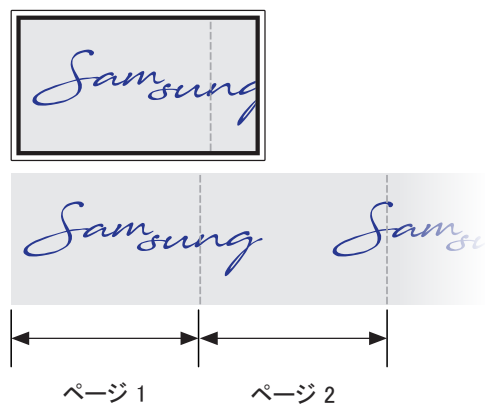
- 1 **ネットワーク設定を開く** ページで **ネットワークの種類** を **無線 (ワイヤレス)** に設定します。
- 2 **WPS を使用** を選択します。
- 3 2 分以内にワイヤレス ルーターの WPS または PBC ボタンを押してください。製品が自動的に必要なすべてのネットワーク設定値を収集しネットワークへの接続を行います。
- 4 ネットワーク接続画面が表示され、ネットワーク設定が完了します。

第 3 章 書き込み

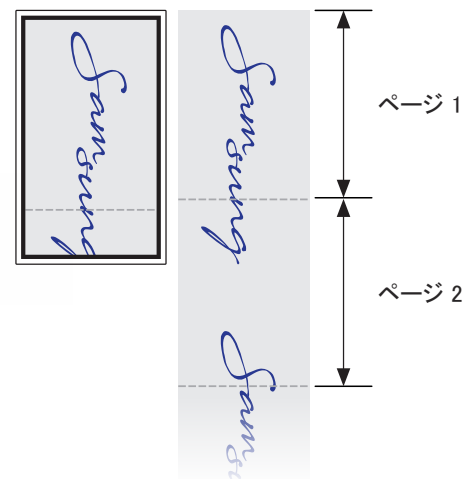
「ロール」とは?

- 本製品では、ファイルを「ロール」と呼びます。「ロール」とは、複数のページを連結させたファイルのことです。
- 1つのロールには、最大で 20 ページまでを連結させることができます。
✎ **ブラシモード**でサポートされるのは、1 ページのみです。
- ページは横向きでは横方向に、縦向きでは縦方向に連結します。
✎ 1つの画面には 1つのロールしか開くことができません。詳細については、「[ロールの管理](#)」をご覧ください。

縦向き

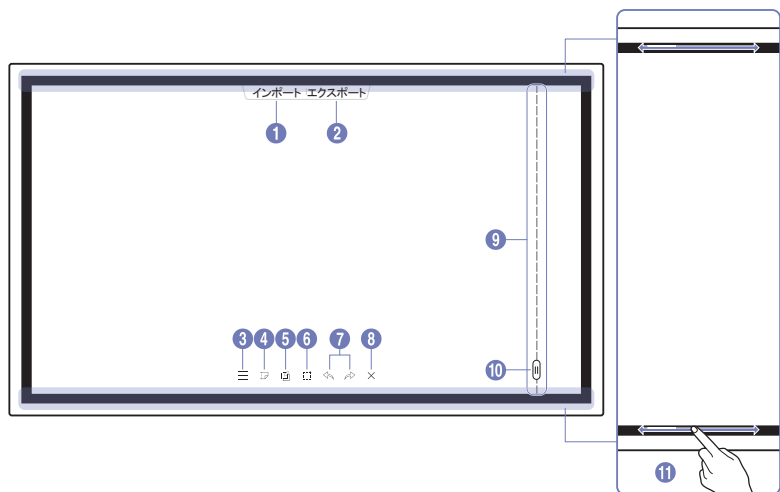


横向き



ペンモード

画面構成要素

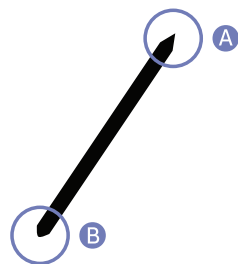


ボタン	説明
1 インポート	本製品に接続したモバイル デバイスや PC の画面を表示したり、接続した USB やネットワークドライブから画像などのデータをインポートしたりできます。
2 エクスポート	作成物をさまざまな方法で共有します。
3 ≡	ロールや設定を管理・変更します。
4 📄	作成したロールをページごとに移動・編集します。
5 📄	画面上に文字や絵を描くためのレイヤーを作成し、キャプチャした画像を保存することもできます。
6 □	ペンやブラシの内容を選択して、編集 / キャプチャ / 電子メール / 印刷します。
7 ↶ / ↷	最後に行った操作を元に戻す、またはやり直します。 <ul style="list-style-type: none">ページの追加、削除、移動などのページ編集操作が見つかった場合↶ / ↷ はリセットされます。🖋️ ↶ / ↷ は、各操作に対して最大 20 回まで実行できます。
8 ✕	現在のロールを閉じて、新しいロールを作成します。
9 改ページ区切り線	改ページ線を表示します。
10 📎	ページをスクロールします。
11 ベゼル スクロール	黒いエリアをスクロールしてページを移動します。

描画

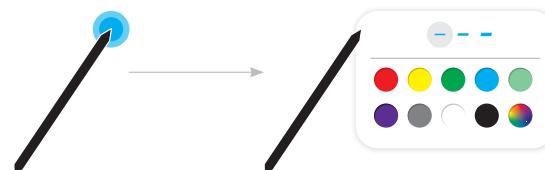
付属のペンを使って自由に書くことができます。

- 細いペン先 (A): ペン タイプ
- 太いペン先 (B): 蛍光ペン タイプ



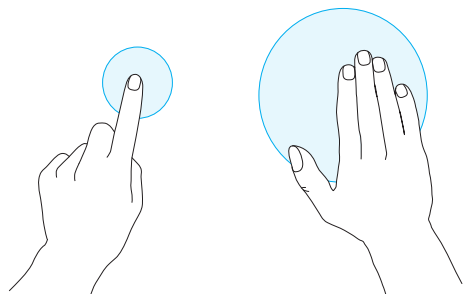
ペンの太さと色の変更

ペンで画面をタッチして長押しすると、ペンの色を変えることができます。



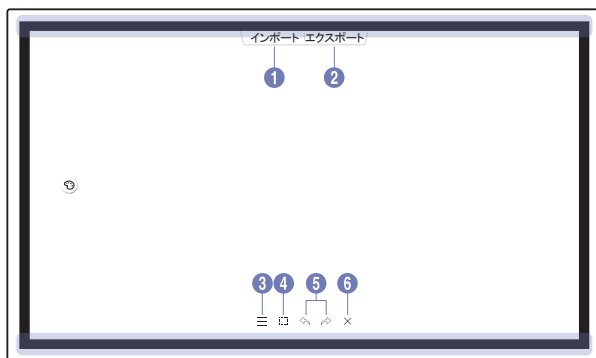
消去










指や手のひらを使って、書いたものを消すことができます。



ブラシモード

画面構成要素



ボタン	説明
① インポート	本製品に接続したモバイル デバイスや PC の画面を表示したり、接続した USB やネットワークドライブから画像などのデータをインポートしたりできます。
② エクスポート	作成物をさまざまな方法で共有します。
③ 	ロールや設定を管理・変更します。
④ 	ペンやブラシの内容を選択して、編集 / キャプチャ / 電子メール / 印刷します。
⑤ 	最後に行った操作を元に戻す、またはやり直します。 <ul style="list-style-type: none">ページの追加、削除、移動などのページ編集操作が見つかった場合  /  はリセットされます。   /  は、各操作に対して最大 5 回まで実行できます。
⑥ 	現在のロールを閉じて、新しいロールを作成します。

 画面に触れるエリアに応じた幅の変更は、すぐに適用されます。(WM55R / WM65R: 最大 3.5 cm、WM85R: 最大 5.0 cm)




 ブラシの使用をお勧めします。

 **ブラシモード**でサポートされるのは、シングルタッチのみとなります。

ブラシのモードと色の変更




- 1 ③ → **ブラシ モード**に移動し、**水彩画**モードか**油絵**モードを選択します。



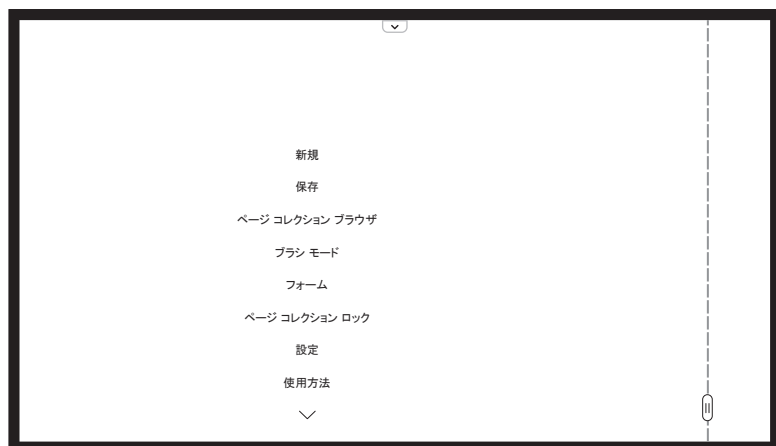
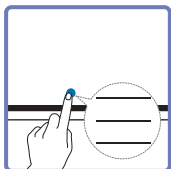
- 2 画面の ☺ をタッチします。
- 3 色を変更または編集します。実行するタスクに応じて、 /  /  から選択します。



 下の画面は、**油絵**モード選択時に表示されます。



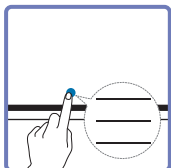
- : 色が混ざらないように乾かします。
- : 選択したポイントから色を抽出します。
- : 選択したエリアを削除します。

ロールの管理



ボタン	説明
新規	新しいロールを作成します。
保存	現在のロールを保存します。
ページコレクション ブラウザ	保存したロールを開く、削除、エクスポートします。
ペン モード / ブラシ モード	モードを選択します。
フォーム	背景のフォーマットを変更します。  このメニューは、 ペン モード 時のみ表示されます。
ページコレクション ロック / ロック解除	<ul style="list-style-type: none">• ページコレクション ロック: 6 桁のパスワードを押すと、現在のロールをロックすることができます。• ロック解除: ロックされたロールを解除するには、ロールのロック時に設定した 6 桁のパスワードを押します。  一度ロックを解除すると、現在のロールは再びロックされるまで、ロックが解除されたままになります。
設定	設定メニューを見ることができます。
使用方法	使用方法を見ることができます。

ロールエクスプローラー



→ ページコレクション ブラウザ

ページコレクション エクスプローラーでページコレクションを開き、参照し、管理することができます。

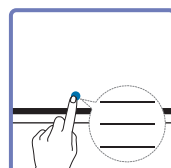


各部	説明
① すべて	お好みのモードでリストを表示することができます。 <ul style="list-style-type: none"> すべて / ペンモード / ブラシモード
② 名前 ↔ 日付順	ファイルの並べ替え順を設定します。
③ 選択	複数のロールを選択して、エクスポートや削除を行います。
④ ファイル名	ファイル名を変更します。
⑤ ページコレクション	必要なページコレクションを参照して開きます。

✎ ロックされたロール (🔒) を開くには、6桁のパスワードを押します。

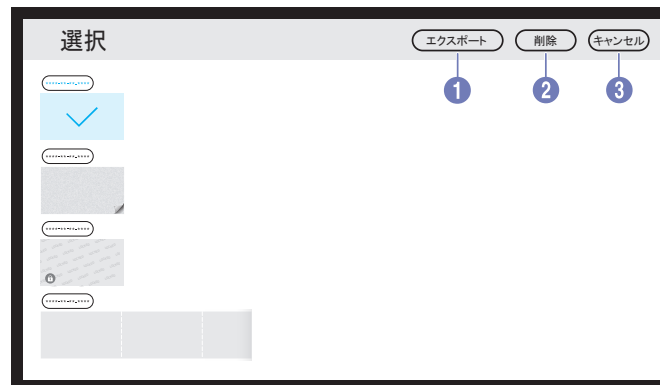
✎ ロールは最近の日付順で並んでいます。

ロールの削除 / エクスポート



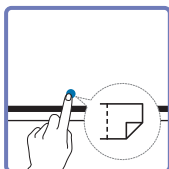
→ ページコレクション ブラウザ → 選択

複数のロールを選択して、エクスポートや削除を行うことができます。

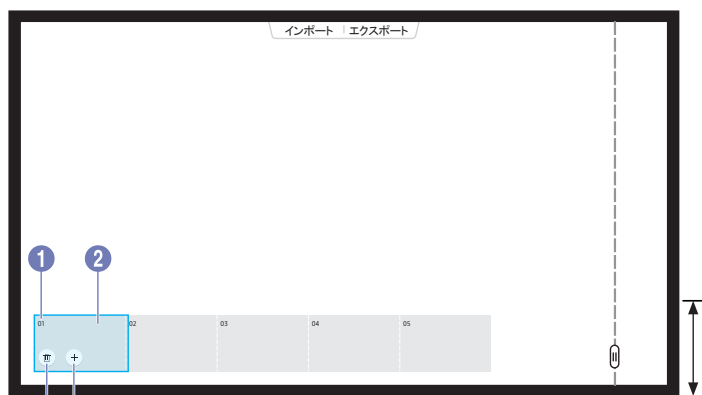


各部	説明
① エクスポート	選択したロールは、自由に共有することができます。 <ul style="list-style-type: none"> 電子メール (@) / USB (📁) / ネットワークドライブ (🌐)
② 削除	選択したロールを削除します。
③ キャンセル	ロールの選択を解除します。

ページビューア



ページごとに作成したロールを移動・編集できます。



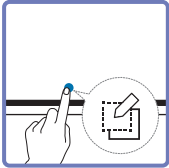
ページビューア エリア

このメニューは、ペンモード時のみ表示されます。

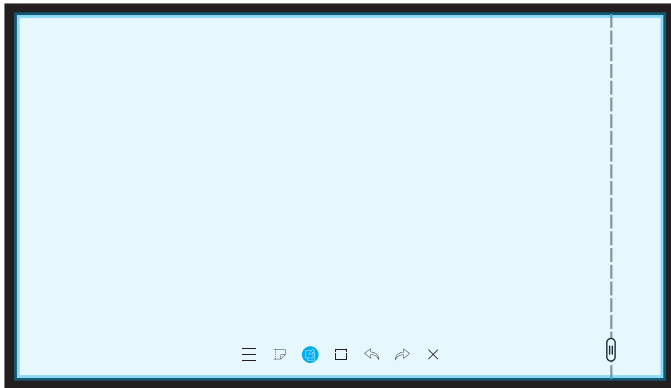
各部	説明
① ページ番号	ページ番号を表示します。
② フォーカス	現在見ているページを表示します。 <ul style="list-style-type: none">ページをタップすると、そのページにフォーカスが移動します。
③	フォーカスしたページを削除します。
④	フォーカスした位置に新しいページを追加します。 1 ロールにつき最大 20 ページまでを作成できます。

表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。



メモのオン/オフ



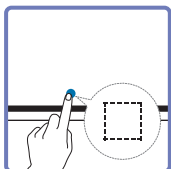
画面の上に、書き込みや描画用のレイヤーを追加します。これは、外部ソースからのコンテンツにメモを追加するのに便利です。



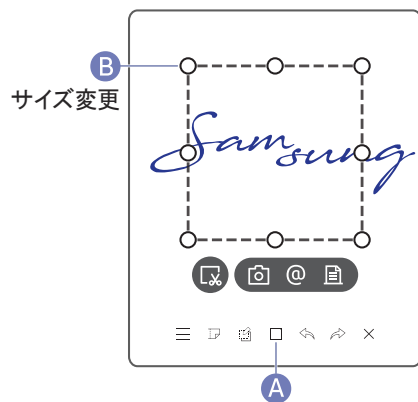
 このメニューは、**ペンモード**時のみ表示されます。

- 1  をタップして、画面の上に新しいノートレイヤーを追加します。
 - 2 レイヤー上にメモを記載します。
 - 3  をタップして閉じます。
- **保存 / 保存しない / キャンセル**




選択ツールの使用

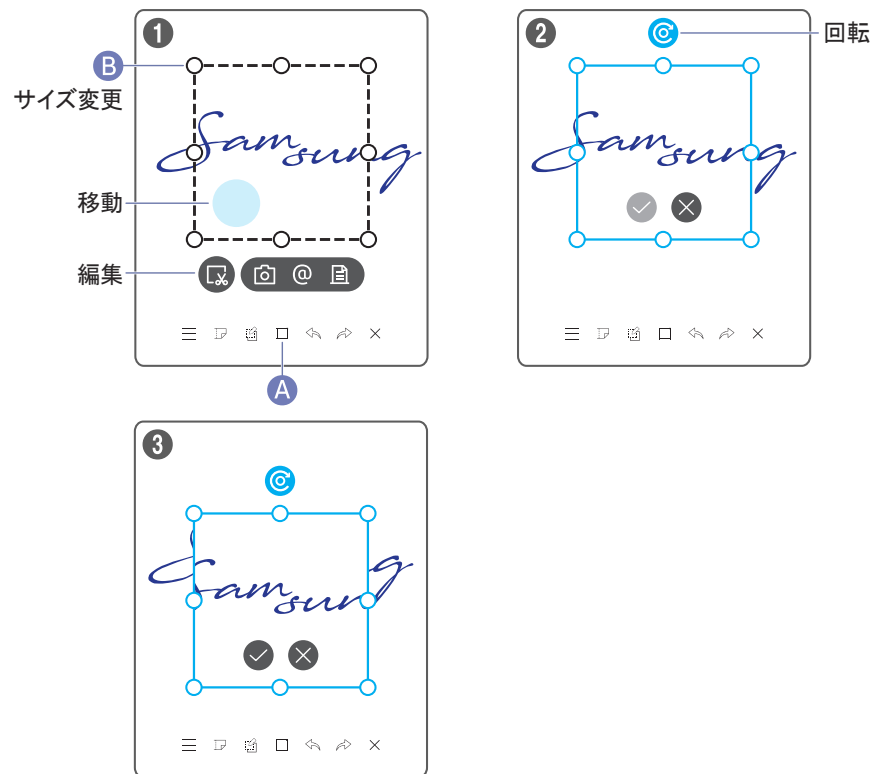


ペンやブラシの内容を選択して、編集 / キャプチャ / 電子メール / 印刷します。☒ を使用して、選択範囲の移動、回転、サイズ変更を行います。






キャプチャ / 電子メール / 印刷

- 1 画面下部の **A** をタップします。画面上にセレクト ボックスが表示されます。
 - ✎ セレクト ボックスの **B** をドラッグしてサイズを調整します。
- 2 エリアを選択し、 /  /  オプションから選択します。
 - ✎ 電子メールまたは印刷オプションを使用するには、本製品をネットワークに接続する必要があります。



ペン・ブラシコンテンツの編集







- ✎ 変更内容はペン・ブラシコンテンツにのみ適用されます。
- 1 画面下部の **A** をタップします。画面上にセレクト ボックスが表示されます。
 - ✎ セレクト ボックスの **B** をドラッグしてサイズを調整します。
 - 2  をタップして、選択したエリアの編集を有効にします。
 - 3 選択したエリアを移動、回転、サイズ変更し、 をタップします。
 - ✎  をタップして変更を中止します。

第4章 インポート

本製品に接続したモバイル デバイスや PC の画面を表示したり、接続した USB やネットワークドライブから画像などのデータをインポートしたりできます。

- 画面上部の**インポート**をタッチして、目的の機器を選択します。



アイコン	説明
	Smart View や Screen Mirroring 機能を使って、モバイル デバイスの画面を表示します。
	HDMI、DP (対応モデル: WM85R)、OPS (対応モデル: WM85R) 接続または Wireless Display を使って、インポートした PC の画面を表示します。
	USB デバイスから動画、画像、ネイティブ FLIP ファイル、文書ファイルをインポートします。
	ネットワークに接続すると、コンピュータからインターネットにアクセスする場合と同様に、製品からインターネットにアクセスできます。
	この機能でリモート PC と作業リソースにアクセスします。
	CISCO WebEx Room Kit Mini を初めて接続するときは、 インポート → PC → HDMI を選択して、アイコンを生成します。このアイコンをタップすると、CISCO WebEx モードに切り替わります。

 ネイティブ FLIP フォーマット (.iwb) とは、機器から直接保存されるファイルのことで、FLIP デバイスのみが対応しています。

 対応している動画ファイル形式: avi、mkv、asf、wmv、.mp4、mov、3gp、vro、mpg、mpeg、ts、tp、trp、flv、vob、svi、m2ts、mts、.webm、.rmvb

 対応している画像ファイル形式: JPG、BMP、PNG、MPO

 対応している文書ファイル形式: DOC、PPT、PDF、XLS、XLSX

モバイル デバイスとの接続

インポート → 携帯

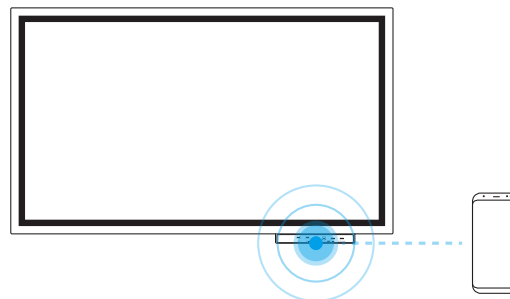
Smart View や Screen Mirroring での接続




- 1 Smart View または Screen Mirroring を開始するには、モバイル デバイスの画面のトップ バーを下方向にドラッグします。
 - 2 画面に表示されたデバイスのリストから本製品を選択します。
 - 初期端末名は、**[FLIP] Samsung WMR Series** です。
-  本製品の画面からモバイル デバイスを操作することができます。
-  HDCP (High-bandwidth Digital Content Protection) コンテンツは、**同時画面キャプチャをオン**に設定すると画面に表示されません。

NFCタグによる接続

-  WM55R / WM65R モデルのみ
-  本機能は、本製品にトレイ (別売) が搭載されている場合のみ利用できます。
-  この機能は、Samsung 製モバイル デバイスの **Android 8.0 Oreo** バージョン以降にのみ対応しています。
-  書き込みモードでは、NFC タグにより、モバイル デバイスで **Smart View** や **Screen Mirroring** を自動的に行うことができます。



- 1 対応しているモバイル デバイスで **NFC** 機能をオンにします。
 - 2 モバイル デバイスを **NFC** パッドにタグ接続します。
-  本製品の画面からモバイル デバイスを操作することができます。

PC との接続

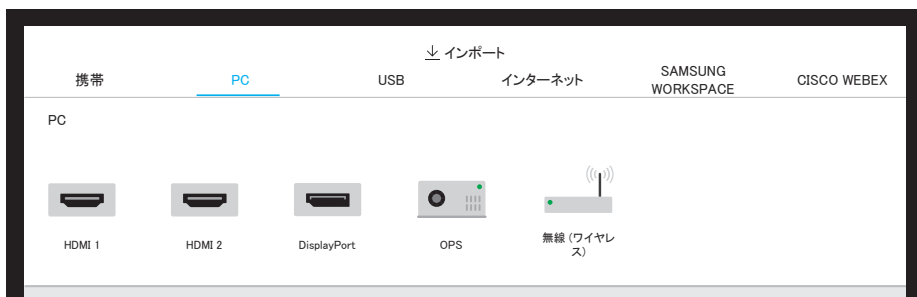
インポート → PC

WM55R / WM65R



HDMI 3 は、本製品にトレイ (別売) が搭載されている場合利用できます。

WM85R



ケーブルによる接続

接続用部品は、モデルによって異なる場合があります。

1 HDMI、DP (対応モデル: WM85R) ケーブルを使用して、本製品を PC に接続します。

HDCP コンテンツは、**同時画面キャプチャをオン**に設定すると画面に表示されません。

グラフィックカードによっては HDCP に自動対応しているものもありますので、画面が黒くなる場合は、**同時画面キャプチャ**をオフにしてください。

HDMI IN



DP IN (対応モデル: WM85R)



2 画面上部の**インポート → PC → HDMI、DisplayPort** (対応モデル: WM85R) を選択します。

3 本製品の画面から PC を操作するには、付属の USB ケーブルを本製品の **TOUCH OUT** ポートに接続します。

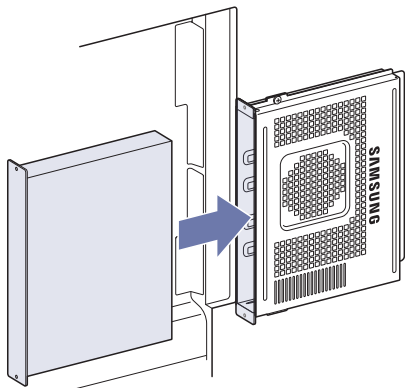
マルチスクリーン設定で使用する場合は、FLIP をメインディスプレイとして設定済みであることを確認してください。

TOUCH OUT



OPS による接続

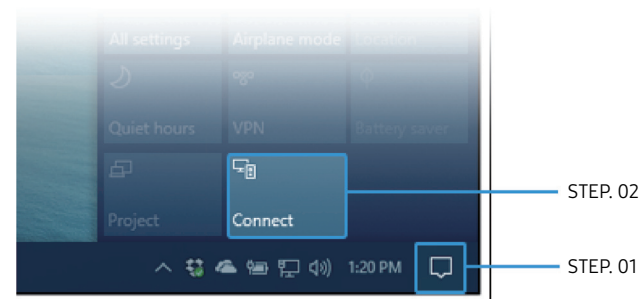
 WM85R モデルのみ。



OPS の Windows の初期設定中は、タッチパネルが正常に動作しない場合があります。初期設定時には、OPS にマウスとキーボードを接続してお使いください。

Wireless Display 機能による接続

 本機能は、Wireless Display 機能に対応した PC でのみ使用できます。



- 1 PC のタスクバーの通知エリアにある **アクション センター**または**デバイス**を選択します。
- 2 **接続**または**プロジェクト**をクリックし、**[Flip] Samsung WMR Series** のデバイスを選択すると、接続が完了します。

 接続方法は PC によって異なる場合があります。

 **Wireless Display** 接続後、本製品の画面から PC の画面を操作することができます。

 本機能は、**Windows 10** のみ対応しています。

USB デバイスからのインポート

インポート → USB



外付け HDD や USB ストレージ デバイスを接続します。

 動画、画像、ネイティブ FLIP ファイル (.iwb)、または文書ファイルをインポートします。

インターネットへの接続

インポート → インターネット

ネットワークに接続すると、コンピュータからインターネットにアクセスする場合と同様に、製品からインターネットにアクセスできます。

ブラウザの画面をキャプチャしたり、位置を変えたり、全画面表示にして見ることができます。

 互換性の問題により、特定のページが表示されなかったり、動作しなかったりする場合があります。

インターネット機能を使用する前にお読みください

インターネット機能を使用する前に、以下の情報をお読みください。

- ファイルのダウンロードはサポートされていません。
- **インターネット**機能では、特定の企業が運営するWebサイトを含む、特定のWebサイトにアクセスできない場合があります。
- 本製品では、Flashビデオの再生はできません。
- オンライン購入のEコマースはサポートされていません。
- ActiveXはサポートされていません。
- サポートされているフォントの数は限られています。記号や文字によっては、正しく表示されない場合があります。
- Webページの読み込み中は、リモートコマンドへの応答とその結果としての画面表示が遅れることがあります。
- 対象システムの状態によっては、Webページの読み込みが遅延したり、完全に中断したりすることがあります。
- コピーおよび貼り付け操作はサポートされていません。
- メールや簡易メールを作成するときは、フォントサイズや色の選択などの特定の機能が利用できない場合があります。
- 保存できるブックマークの数とログファイルのサイズには制限があります。
- 同時に開くことができるウィンドウの数には制限があります。
- Webの閲覧速度は、ネットワーク環境によって異なります。
- 閲覧履歴は最新のものから順に保存され、古いものから順に上書きされます。
- サポートされているビデオ/オーディオコーデックのタイプによっては、特定のHTML5ビデオおよびオーディオファイルを再生できない場合があります。
- PCIに最適化されたストリーミングサービスプロバイダーのビデオソースは、当社独自の**インターネット**ブラウザで正しく再生されない場合があります。

SAMSUNG WORKSPACE への接続

インポート → SAMSUNG WORKSPACE

この機能でリモート PC と作業リソースにアクセスします。

- **リモート PC:** この機能により、製品をリモート PC またはクラウド サーバーに接続することができます。
✎ Mac OS/Windows 7 Pro 以降で動作する PC またはクラウド サーバーのみがサポートされています。
- **ネットワークドライブ:** ネットワークドライブを接続してファイルを持ち込みます。
✎ ネットワークが接続されている状態で、ネットワークドライブを登録することができます。
ネットワークの接続方法については、「[ネットワークへの接続](#)」をご覧ください。
✎ ネットワークドライブのアカウントは、**☰** → **設定** → **接続** → **詳細設定** → **ネットワークドライブ** → **アカウントの追加**で登録できます。
ネットワークドライブのアカウントを登録するには、**住所**、**ユーザー名**、**パスワード**を入力する必要があります。
ネットワークドライブのアカウントを登録するには、**ネットワークドライブ**の「[アカウントの追加](#)」をご覧ください。
✎ 動画、画像、ネイティブ FLIP ファイル (.iwb)、または文書ファイルをインポートします。
- **Office 365:** Microsoft から **Office 365** の機能にアクセスします。
- **VMware Horizon:** VMware Infrastructure をご購入いただいた企業のお客様は、**VMware Horizon** にアクセスできます。

CISCO WEBEX への接続

CISCO WebEx Room Kit Mini を接続すると、**CISCO WEBEX**に **インポート** アイコンが表示されます。

CISCO WebEx モードは、常に全画面で動作し、CISCO WebEx 機能のみをサポートします。

CISCO WebEx モードでは、Flip アイコンを使って Flip モードに切り替えることができます。









✎ ただし、初期導入の場合は、**インポート** → **PC** → **HDMI** で接続してください。

ソース ウィンドウ



✎ 使用可能な機能は PIP 設定によって異なる場合があります。

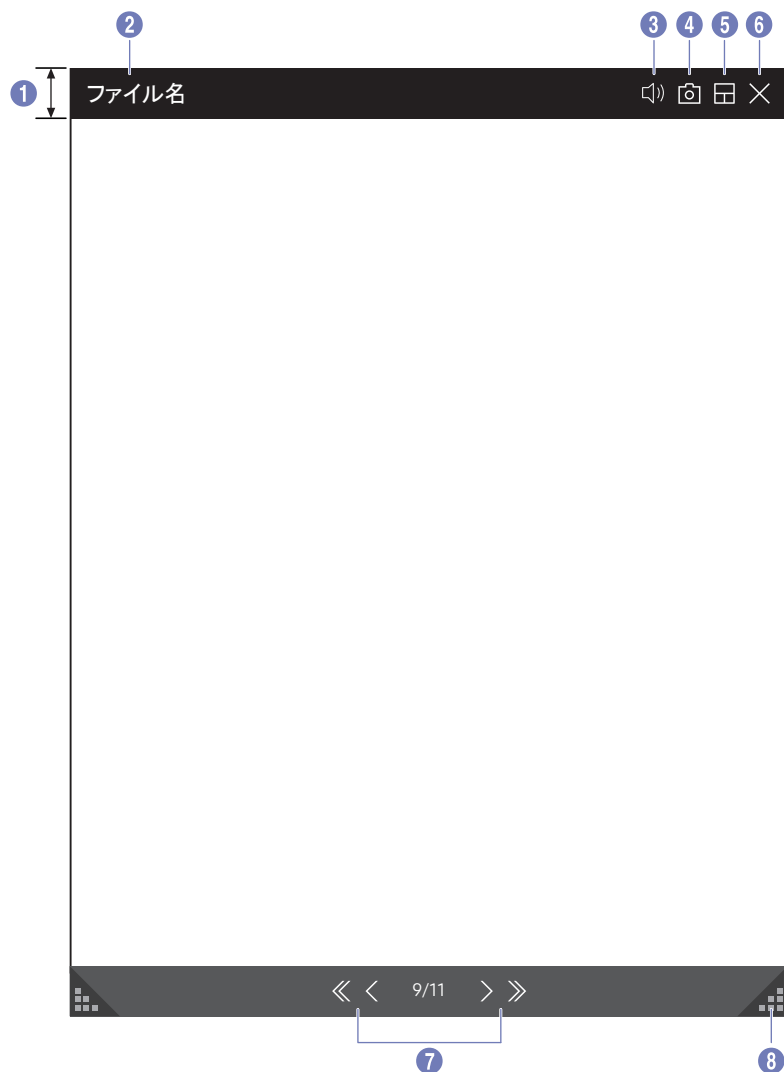
PC やモバイル デバイスを本製品に接続すると、ソース ウィンドウが表示されます。











各部	説明
① メニュー バー	ソース ウィンドウをドラッグすると、任意の位置に移動します。
② デバイス名	接続されたデバイスの名前を表示します。
③ 	音量を調整します。
④ 	入力画面の表示を一時停止します。
⑤ 	ソース ウィンドウをキャプチャします。 ✎ 同時画面キャプチャがオフ に設定されている場合、本機能は使用できません。
⑥ 	ソース ウィンドウを回転します。 ✎ この機能は、Samsung 製モバイル デバイスの Android 8.0 Oreo バージョン以降にのみ対応しています。
⑦ 	入力画面の位置を変更したり、全画面で表示したりします。 •  ✎ 本製品が縦向きの場合、全画面モードは Samsung のモバイル端末の Android 8.0 Oreo バージョン以降のみ対応となります。 ✎ アイコンの画像は、位置の参考用となります。画面の大きさは、表示とは異なる場合があります。
⑧ 	ビューアを閉じます。
⑨ 	ソース ウィンドウのサイズを調整します。

文書ビュー

USB 機器やネットワークドライブからインポートするように選択した文書ファイルが表示されます。

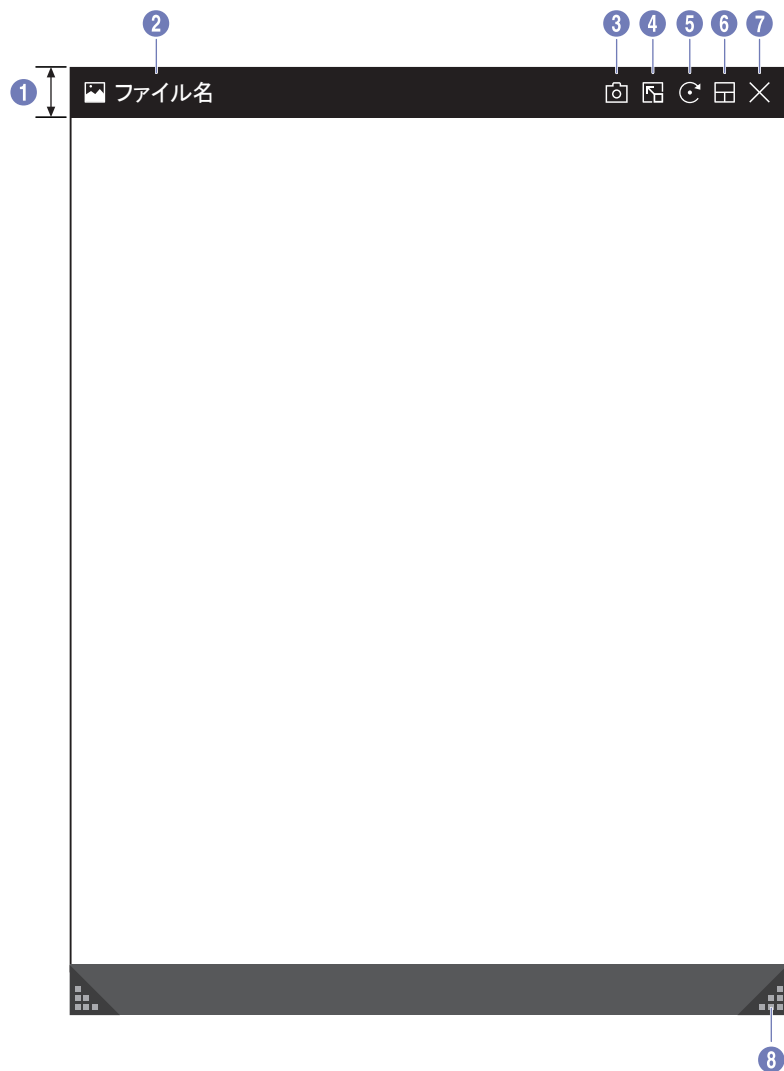
 対応している文書ファイル形式: DOC, PPT, PDF, XLS, XLSX











各部	説明
1	メニュー バー メニュー バーをドラッグして、ビューアを移動します。
2	ファイル名 現在表示中のファイルの名前。
3	 音量を調整します。
4	 ビューア画面をキャプチャします。
5	入力画面の位置を変更したり、全画面で表示したりします。 •  /  /  /  / 
6	 ビューアを閉じます。
7	 《《 / < / > / 》》をタップしてページ間の移動します。
8	 ビューアのサイズを調整します。

 使用可能な機能は PIP 設定によって異なる場合があります。

画像ビュー

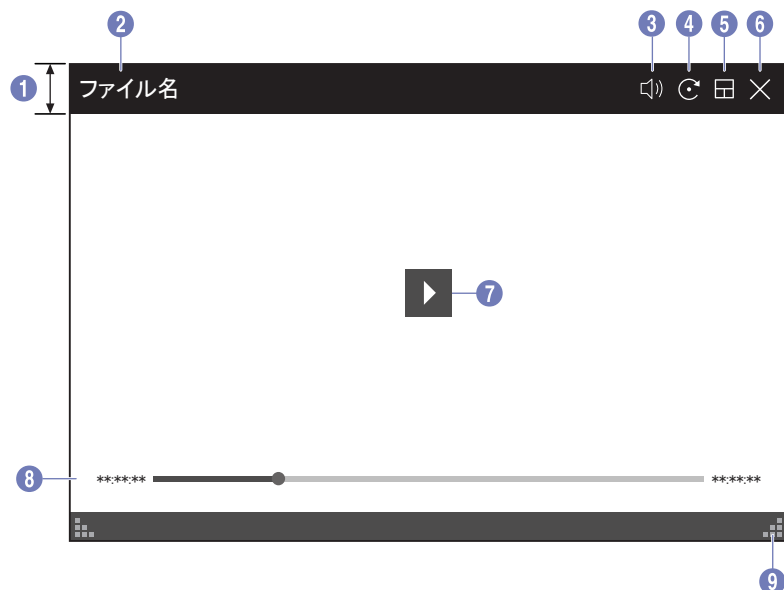


USB デバイスまたはネットワークドライブからインポートするファイルを選択します。

各部	説明
① メニュー バー	メニュー バーをドラッグして、ビューアを移動します。
② ファイル名	現在表示中のファイルの名前。
③ 	画像ビューアの画面をキャプチャします。
④ 	 をタップして、画像をロールに貼り付けます。
⑤ 	画像を回転します。
⑥ 	入力画面の位置を変更したり、全画面で表示したりします。 • 
⑦ 	ビューアを閉じます。
⑧ 	ビューアのサイズを調整します。

 使用可能な機能は PIP 設定によって異なる場合があります。








ビデオ ビュー



✎ 使用可能な機能は PIP 設定によって異なる場合があります。

USB またはネットワーク デバイスからインポートして表示するビデオ ファイルを選択します。






✎ 対応している動画ファイル形式: avi、mkv、asf、wmv、.mp4、mov、3gp、vro、mpg、mpeg、ts、tp、trp、flv、vob、svi、m2ts、mts、.webm、.rmvb

各部	説明
① メニュー バー	メニュー バーをドラッグして、ビューアを移動します。
② ファイル名	現在表示中のファイルの名前。
③ 	音量を調整します。
④ 	ビデオ画面を回転します。
⑤ 	入力画面の位置を変更したり、全画面で表示したりします。 <ul style="list-style-type: none"> 
⑥ 	ビューアを閉じます。
⑦ 	ビデオを再生または一時停止します。
⑧ 再生スライダーと時間の詳細	ビデオ内を移動し、ファイルの時間の詳細を表示します。
⑨ 	ビューアのサイズを調整します。

第 5 章 エクスポート

作成したロールは、さまざまな方法でエクスポートできます。



アイコン	説明
@	作成したロールを電子メールで送信します。
	作成したロールを印刷します。
	作成したロールを、接続した USB デバイスにエクスポートします。
	選択したデバイスで画面を共有します。
	作成したロールを登録・接続したネットワークドライブにエクスポートします。
	ロールをモバイル デバイスに送信します。

電子メールの送信

エクスポート → 電子メール



作成したロールを電子メールで送信するには、まず電子メール アカウントを登録します。

✎ 電子メール アカウントは、☰ → **設定** → **接続** → **詳細設定** → **電子メール** で登録できます。

✎ ☰ → **設定** → **接続** → **詳細設定** → **電子メール** で **送信者の認証を個人口座** または **パーソナル (LDAP) アカウント** に設定した場合、電子メールを送信するたびにアカウントの認証が必要になります。下記をご覧ください。

- **送信者の認証が個人口座** に設定されていても、そのメール サーバー (**SMTP サーバー名** と **SMTP ポート番号**) にアカウントがあれば、電子メールを送信することができます。
ただし、メールを送信するたびに、SMTP アカウント ID とパスワード、および送信者アドレスを入力する必要があります。

- **送信者の認証をデフォルトのアカウント** に設定すると、**デフォルトのアカウント** に保存した SMTP ID とパスワードを使って電子メールを送信することができます。(送信者アドレスは通常 SMTP ID と同じですが、SMTP サーバーによっては例外があります)
- メール サーバーの登録に必要な SMTP 情報については、メール サーバーの管理者にお問い合わせください。
- **送信者の認証がパーソナル (LDAP) アカウント** に設定されている場合は、**LDAP** アカウントと同じアカウントとパスワードを使用してください。

✎ 専用ファイルとして保存したファイルは、PDF ファイルに変換して送信されます。

各部	説明
① に	<p>受信者の電子メール アドレスを入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ✎ + を押して、仮想キーボードで文字を入力します。 ✎ 手書き文字を入力するには、仮想キーボードで を押します。 ✎ ローカルアドレス帳 または LDAP サーバーで相手を検索します。 ✎ 本製品にトレイ (別売) を搭載し、情報が記録された NFC カードやステッカーをタグ接続すると、宛先を自動入力できます。 <ul style="list-style-type: none"> - WM55R / WM65R モデルのみ - : NFC カードのタグ接続場所を説明します。 - モバイル デバイスや PC などでは NFC Writing App を使って、市販の NFC Forum Type 2 Card に NDEF Standard <Text> Record Type の電子メールアドレスを登録します。
② 件名	電子メールの件名には、デバイス名と現在の日付が自動的に設定されます。
③ 送信	電子メールを送信します。
④ /	送信するロールのページ表示モードを変更します。
⑤	送信するページを選択します。

印刷

印刷するには、**プリント サーバー**と**現在時刻設定**の設定が必要です。

プリント サーバーを設定するには、本製品とプリンター、パソコンを同じネットワークに接続する必要があります。

また、接続したパソコンに **Flip Printing Software** がインストールされている必要があります。

🔗 ネットワークの接続方法については、「[ネットワークへの接続](#)」をご覧ください。

🔗 **プリント サーバー**は、☰ → **設定** → **接続** → **詳細設定** → **プリント サーバー**で設定できます。

🔗 **現在時刻設定**は、☰ → **設定** → **システム** → **時刻** → **現在時刻設定**で設定できます。

🔗 **Flip Printing Software** ソフトウェアは、Web サイトからダウンロードできます。

- <http://displaysolutions.samsung.com>

- <http://www.samsung.com>

🔗 仮想プリンター (PDF、XPS、One noteなど) やファックス機などのファイルを転送するデバイスには対応しておらず、実際の用紙を印刷できるプリンターのみに対応しています。

🔗 印刷用紙サイズについては、A4 のみに対応しています。

Flip Printing Software のインストール

画面の指示に従って、**Flip Printing Software** をインストールします。

🔗 インストールには、約 10 分かかります。所要時間は PC 環境によって異なる場合があります。

PC 設置要件

- 対応 OS:
Windows 7(32/64 ビット)、Windows 10(32/64 ビット)、MAC
 - 🔗 ソフトウェアをインストールするときは、重要な Windows 更新プログラムがすでにインストールされていることを確認してください。セットアップを開始する前に、Windows を最新バージョンに更新してください。
 - 🔗 Windows 7 の場合は、**Service Pack 1** がインストール済みであることを確認してください。

プリンターのセットアップ

Flip Printing Software のインストール後、製品の画面メニューで以下の設定を行ってください。

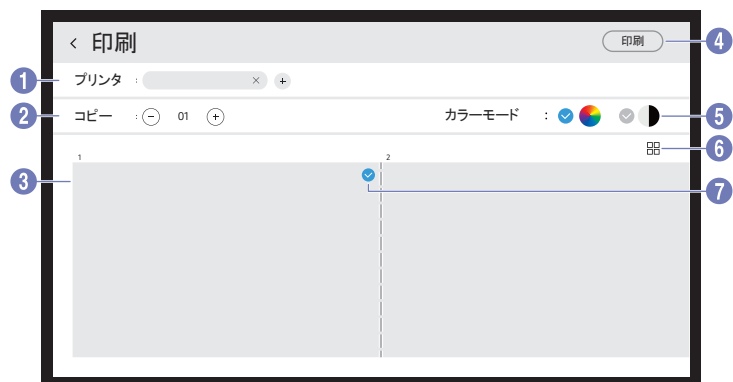
自動設定




- 1 ☰ → **設定** → **接続** → **詳細設定**メニューを選択します。
- 2 **プリント サーバー** → **サーバーに接続** → **自動**を選択します。

手動設定

- 1 ☰ → **設定** → **接続** → **詳細設定**メニューを選択します。
- 2 **プリント サーバー** → **サーバーに接続** → **手動**の順に選択し、**Flip Printing Software** のインストールされた PC の**サーバー IP** アドレスを入力します。

エクスポート → 印刷



各部	説明
① プリンタ	接続されたプリンターの一覧を表示します。ロールを印刷するプリンターを選択します。
② コピー	印刷枚数を設定します。
③ 印刷プレビュー エリア	印刷するロールをプレビューします。
④ 印刷	印刷を開始します。
⑤ カラーモード	ロールを印刷する色を選択します。
⑥  / 	印刷するロールのページ ビュー モードを変更します。
⑦ 	印刷するページを選択します。

USB デバイスへのエクスポート

エクスポート → USB



外付け HDD や USB ストレージ デバイスを接続します。

 お使いのデバイスは、ファイルを 2 つのバージョン (IWB および PDF 形式) で保存します。

画面の共有

エクスポート → 画面共有



選択したデバイスで画面を共有します。

HDMI ケーブルで接続する

- 1 HDMI ケーブルを使用して、**画面の共有**ポートを外部ディスプレイに接続します。
- 2 画面の上部から、**エクスポート** → **画面共有** → **有線**を選択します。
 - ✎ WM55R / WM65R: 未設定のまま PC をトレイ (オプション購入) の HDMI IN 3 ポートに接続すると、代わりに PC 画面がディスプレイで共有されます。
 - ✎ WM85R: 未設定のまま PC をトレイの HDMI IN 2 ポートに接続すると、代わりに PC 画面がディスプレイで共有されます。
- 3 画面はディスプレイ上で共有されます。

- ✎ このオプションは、UHD (50 Hz / 60 Hz) および FHD (50 Hz / 60 Hz) のみに対応しています。
- ✎ 接続されている外部ディスプレイによっては、50 Hz に対応していないデバイスがあります。
- ✎ 初めて接続するときは、または WMR 製品またはソースの状態が変化すると、画面が 1 回または 2 回点滅することがあります。
- ✎ いずれかのデバイスが機能しない場合は、**画面共有**の画面解像度を変更してください。(☰ → **設定** → **映像** → **画面共有 (有線) 解像度**)
- ✎ 互換性に問題があって、外部デバイスにUHDやFHD1を出力できない場合は、**画面共有 (有線) 解像度**を**FHD2**に設定してください。
- ✎ HDMIケーブルで接続した**画面共有**は、サムスのディスプレイ製品との直接接続に最適化されます。

ワイヤレス接続

画面の上部から、**エクスポート** → **画面共有** → **無線 (ワイヤレス)**を選択し、画面を共有するデバイスを選択します。

- ✎ **画面共有**機能は、FLIPを横向きで使用する場合に最適に機能します。
- ✎ **画面共有**で共有画面を映し出すためには、デバイスが**Screen Mirroring**の受信に対応している必要があります。

ボタン	説明
デバイスを変更	画面を共有するデバイスを変更します。
切断しました	共有を停止します。

ネットワークドライブからのエクスポート

エクスポート → ネットワークドライブ



ネットワークドライブを接続してファイルを保存します。

- ✎ ネットワークが接続されている状態で、ネットワークドライブを登録することができます。
ネットワークの接続方法については、「[ネットワークへの接続](#)」をご覧ください。
- ✎ ネットワークドライブのアカウントは、☰ → **設定** → **接続** → **詳細設定** → **ネットワークドライブ** → **アカウントの追加**で登録できます。
ネットワークドライブのアカウントを登録するには、**住所**、**ユーザー名**、**パスワード**を入力する必要があります。
ネットワークドライブのアカウントを登録するには、**ネットワークドライブ**の「[アカウントの追加](#)」をご覧ください。
- ✎ お使いのデバイスは、ファイルを2つのバージョン (IWB および PDF 形式) で保存します。

モバイル デバイスへの送信

エクスポート → 携帯

モバイル デバイスから製品の画面を見ます。

✎ 現時点では、共有はロールでのみ利用できます。

Samba クライアント アプリをモバイル デバイスにダウンロードし、製品画面に表示される次の情報を入力します。


- **Wi-Fi 名**, **Wi-Fi パスワード**, **サーバー IP アドレス**

第 6 章 メニュー



接続

2 番目	3 番目	説明
ネットワーク		デバイスのネットワークを構成します。
	ネットワーク ステータス	現在のネットワークとインターネットの状態を確認します。
	ネットワーク設定を開く	ネットワーク設定を構成することで、利用可能なネットワークに接続できます。
	ネットワークリセット	ネットワーク設定を工場出荷時の設定に戻します。
外部デバイス マネージャ	入力デバイス マネージャ	Signage で使用するキーボードを設定します。キーボードを追加して設定を構成できます。 <ul style="list-style-type: none">Bluetooth 機器リストキーボード設定マウス設定
	機器接続マネージャ	お使いの Signage とネットワーク上のデバイス (スマートフォンやタブレットなど) との間でコンテンツを共有できるようにします。 <ul style="list-style-type: none">アクセス通知機器 リスト
	Anynet+(HDMI-CEC)	Anynet+ (HDMI-CEC) をアクティブまたは非アクティブにします <ul style="list-style-type: none">オフ (●) / オン (●)

2 番目	3 番目	説明
詳細設定	電子メール	<p>電子メールを送信するためのメール アカウントを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • SMTP サーバー名: SMTP サーバー アドレス • SMTP ポート番号: SMTP サーバー ポート • SSL/TLS: SSL/TLS の有効化または無効化 • 送信者の認証: 電子メール送信時に使用する認証モードの選択 <ul style="list-style-type: none"> - パーソナル アカウント / デフォルトのアカウント / パーソナル (LDAP) アカウント • デフォルトのアカウント: デフォルトの SMTP アカウント • パスワード: デフォルトの SMTP アカウントのパスワード • 送信者の電子メール: 送信者のメール アドレス • 受取人の住所: 電子メールの送信に成功した後、メールの連絡先を管理するオプションから選択 <ul style="list-style-type: none"> - 自動保存 / 保存しない / すべて削除 • ローカルアドレス帳: USB デバイスからの連絡先のインポートや削除を行います。 <ul style="list-style-type: none"> - インポート / 削除 <p> 詳細については、「ローカルアドレス帳の連絡先のインポート」をご覧ください。</p>

ローカルアドレス帳の連絡先のインポート

FLIP **ローカルアドレス帳**を使用するには、最初に USB デバイスを使用して CSV ファイルから連絡先を**インポート**します。

1 **LDAPを使用: 削除**を設定します。

☰ → **設定** → **接続** → **詳細設定** → パスワードを入力 → **LDAP** → **LDAP 接続の設定** → **LDAPを使用** → **削除**

2 **電子メール**メニューで詳細を設定します。

☰ → **設定** → **接続** → **詳細設定** → パスワードを入力 → **電子メール**

3 **ローカルアドレス帳**を編集して USB デバイスに保存します。

次の構造の連絡先のリストを作成し、RecentSearchList.csv としてルート ディレクトリに保存します。

– RecentSearchList.csv の構造 (例)

emailid1@samsung.com	Name1	Level1	Team1	Company1
emailid2@samsung.com	Name2	Level2	Team2	Company2
emailid3@samsung.com	Name3	Level3	Team3	Company3

4 USB デバイスを FLIP に接続して、連絡先をインポートします。

☰ → **設定** → **接続** → **詳細設定** → パスワードを入力 → **電子メール** → **ローカルアドレス帳** → **インポート**

🔧 USB 延長ケーブルを使用すると、USB デバイスとその内容が正しく検出されない場合があります。(USB ハブはサポートされません)

🔧 ロード中に USB デバイスを取り外さないでください。

🔧 3 つ以上の USB デバイスが接続されている場合、それらの一部が検出されない場合があります。

🔧 より高い動作電力を必要とする USB デバイスは、背面の **USB ⚡ (1.0A)** ポートに接続する必要があります。

🔧 ファイル システムは、FAT、exFAT、および NTFS 形式に対応しています。

ローカルアドレス帳の連絡先の使用




エクスポート → **電子メール**で受信者を選択すると、連絡先リストから自動的に検索・提案します。

🔧 この機能を使用するには、**電子メール**メニューで設定の詳細を入力します。

ローカルアドレス帳の連絡先の削除

☰ → **設定** → **接続** → **詳細設定** → パスワードを入力 → **電子メール** → **ローカルアドレス帳** → **削除**

2 番目	3 番目	説明
詳細設定	LDAP	<p>LDAP 接続を設定するか、接続された LDAP クエリを構成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • LDAP 接続の設定 新しい LDAP 接続を構成します。 <ul style="list-style-type: none"> - LDAPを使用: LDAP を使用するかどうか - 設定値のインポート: USB に保存された LDAPConnectionConfig.txt から以下の設定を取得できます (パスワードを除く) <ul style="list-style-type: none"> ✎ 詳細については、「LDAP 使用のためのテキストファイルを作成する方法」をご覧ください。 - 認証タイプ: LDAP サーバーでサポートされている Kerberos、匿名の、または基本のいずれか - ユーザーID: LDAP サーバーで使用するユーザーID の DN (識別名) <ul style="list-style-type: none"> ✎ ユーザーID の形式は、LDAP の DN 形式に準拠します。 例: cn=admin, dc=myldap, dc=com - パスワード: LDAP サーバーの認証に使用するパスワード - サーバー アドレス: LDAP サーバーの IP または URL - サーバーポート番号: LDAP サーバーのポート番号 - ベースDN: LDAP 接続時に DIT (ディレクトリ情報ツリー) での検索に使用する最上位 DN - SSL/TLS: SSL/TLS を使用するかどうか <ul style="list-style-type: none"> ✎ SSL/TLS を 使用するに設定した場合、暗号化されたデータ通信が有効になります。 - 信頼できない証明書を使用する: 信頼済みでない証明書を許可するかどうか ✎ 認証タイプを Kerberos に設定すると、次のメニューがアクティブになります。 <ul style="list-style-type: none"> ✎ ケルベロス領域: Kerberos レルム データ ✎ KDCホスト: KDC Host URL ✎ KDCポート: KDC Host ポート番号

2 番目	3 番目	説明
詳細設定	LDAP	<ul style="list-style-type: none"> • LDAP クエリ設定 接続された LDAP のクエリを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> - UID: LDAP で使用するユーザー UID を変更します。 - 電子メール: LDAP で使用する電子メールを変更します。 - 名前: LDAP で使用するユーザー名 (共通名) を変更します。 - 苗字: LDAP で使用するユーザーの名字を変更します。 - ポジション: LDAP で使用する役職を変更します。 - 会社名: LDAP で使用する会社名を変更します。 - 部門: LDAP で使用する部門名を変更します。 - カスタム クエリの使用: USB に保存された LDAPQuery.txt (大文字と小文字を区別) からユーザー定義のクエリを取得します。  詳細については、「LDAP 使用のためのテキストファイルを作成する方法」をご覧ください。  リセット ボタンを押して、設定を工場出荷時の状態に戻します。  マッピングが一致しない場合、検索結果には属性が含まれません。
	サーバー ネットワーク設定	<p>サーバー ネットワーク接続と関連機能を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • サーバーに接続: MagicInfo サーバーに接続します。 • サーバー アクセス: MagicInfo サーバーへのアクセスを許可または拒否します。 • プロキシ サーバー: プロキシ サーバーの接続およびその他の機能を設定します。
	証明書マネージャ	<p>このデバイスの証明書ファイルを管理します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • アプリ証明書: このデバイスにインストールされているアプリの証明書を表示および管理します。この機器に証明書をインストールするには、該当する証明書が格納された USB フラッシュドライブを接続します。 • Wi-Fi 証明書: この機器にインストールされた証明書を管理します。USB フラッシュドライブを接続して、証明書をインストールしたり、インストール済みの証明書を削除します。

LDAP 使用のためのテキスト ファイルを作成する方法

LDAP 構成は、基本的に多くの長文で構成されています。

LDAP の構成中に、テキスト ファイルを用いて FLIP を取得し、入力ミス防止してバッチ設定を行うことができます。

 ファイル名とコンテンツの入力では、正確な操作のために大文字と小文字を区別する必要があります。

- LDAPConnectionConfig.txt の形式

(1) テキスト ファイルの例

```
User ID=cn=Manager, dc=example, dc=com
Server Address=123.456.789.012
Server Port Number=12345
Base DN=dc=samsung, dc=example, dc=com
SSL/TLS=Don't Use
Use Untrusted Certificates=Don't Use
Authentication Type=Basic
Kerberos Realm=MYLDAP.COM
KDC Host=krb1.myldap.com
KDC Port=88
```

(2) 各キーの値 (VAL) の割り当て

- User ID: User ID を入力します。
- Server Address: LDAP サーバーの IP または URL を入力します。
- Server Port Number: LDAP サーバーのPortを入力します。
- SSL/TLS: Use または Don't Use を入力します。
- Use Untrusted Certificates: Use または Don't Use を入力します。
- Authentication Type: Basic または Anonymous を入力します。
- Kerberos タイプの検証を選択すると、次の 3 つの項目が追加されます。
 - Kerberos Realm: Kerberos フィールドに入力します (例: MYLDAP.LDAP)
 - KDC Host: KDC Host URL を入力します (例: krb1.myldap.com)
 - KDC Port: KDC HostのPortを入力します (例: 88)
-  Kerberos タイプ検証の使用を選択した場合は、DN(Distinguished Name) 形式の User ID ではなく、元の Kerberos User ID を User ID に使用します。(例: Mirko)

- LDAPQuery.txt の形式

- (1) テキスト ファイルの例

```
UID=uid
Email=mail
Name=cn
Last Name=sn
Position=title
Company Name=o
Department=departmentNumber
Query=|(mail=*<A>*)(cn=*<A>*)
```

- (2) 各キーの値 (VAL) の割り当て

- 1) マッピング部分 (最後を除くすべての行)

- 最後を除くすべての行が、**UID、電子メール、名前、苗字、ポジション、会社名、部門**の順に含まれます。
 - 値は次の方法でマップされます。
“=” 構文の左側は、**LDAP クエリ設定**メニュー (これも左側) に表示され、“=” (実際の LDAP サーバー属性) の右側の値にマップされる名前です。
 - 属性を選択して値を変更できます。たとえば、左側の値を変更せずに右側の値を変更できます。





- 2) Query 部分


- <A> は、Search に使用する Keyword です。
 - Use Custom Query の構文は、<A> を除く LDAP Query ルールに準拠しています。たとえば、<A> が mail または cn 属性に含まれている場合、次のように作成できます。
Query=|(mail=*<A>*)(cn=*<A>*)

システム


2 番目	3 番目	説明
言語		言語設定を変更します。
ページ コレクション	自動保存	すべてのデータを自動的に保存します。
	すべて削除	ロックされたデータを含め、すべてのデータをデバイスから削除します。
	保存ファイルをすべて削除する周期	内部ストレージ上のすべてのデータを削除する定期的なリセット間隔を設定します。
時刻		さまざまな時間に関する設定を行います。
	現在時刻設定	現在の日付と時刻を設定します。
	DST	夏時間の時計を調整します。 ✎ 開始日、終了日 および タイム オフセット は、DSTがオン に設定されている場合にのみ有効になります。
スマート セキュリティ		ディスプレイ装置および接続している記憶装置をウイルスから守るセキュリティが装備されています。
	スキャン	ディスプレイ装置および接続している記憶装置に対してウイルス チェックを行います。
	隔離リスト	ウイルスが含まれている隔離済みアイテムのリストを確認します。
PIN の変更		6 桁の個人識別番号 (PIN) を変更します。 ✎ デフォルトの PIN 番号は "000000" です。 ✎ 機器のセキュリティのために PIN を変更してください。


2 番目	3 番目	説明
デバイス名		<p>デバイス名を入力します。</p> <p>この名前は、ネットワーク上で使用されているデバイスで確認できます。</p>
タップしてオン		<p>タップを回してオンまたはオフにします。1 回タップするだけで画面をオンにできます。</p>
サウンド出力		<p>音声出力のためスピーカーを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> Flip スピーカー / オーディオ出力 / 画面共有 (有線)
フィードバック音		<p>メニューまたはオプションが選択されたときにサウンドを鳴らします。</p>

2 番目	3 番目	説明
詳細設定		<p>USB ロックとネットワーク ロックを含む詳細設定を構成します。</p> <p>6 桁の PIN 番号を入力します。デフォルトの PIN 番号は“000000”です。</p> <p> PIN 番号を変更するには、PIN の変更 機能を使用します。</p> <p> 機器のセキュリティのために PIN を変更してください。</p>
	スクリーンセーバー	スクリーンセーバーを設定します。選択した画像をカスタム スクリーンセーバーとして使用できます。
	タッチ コントロール ロック	<p>タッチ コントロール ロックを実行します。</p> <p> 画面を長押しして、タッチ コントロール ロックを解除します。</p>
	USB ロック	<p>USB ロックを設定します。設定後、デバイスが再起動して設定が適用されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> オフ / 読み取り専用 / すべてオン
	ネットワーク ロック	ネットワーク ロック を設定します。
	自動電源オフ	ユーザー操作が検出されなくなってから、ディスプレイの電源がオフになるまでの時間を選択します。
	PC モジュール電源	<p>電源がオンまたはオフのとき、OPS 電源との同期をオンまたはオフにします。</p> <p> WM85R モデルのみ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電源オンの同期: Flip をオンにすると、PC モジュールも自動的にオンになります。 電源オフの同期: Flip をオフにすると、PC モジュールも自動的にオフになります。
	シグナルなし / 操作なしの電源オフ	どのソースからも信号/タッチ操作を受信していないときは、デバイスの電源をオフにして電力を節約できます。
	リモコンのスタンバイ	リモコンのスタンバイ のオン/オフを切り替えます。この機能を有効にすると、製品の電源がオフの場合もネットワーク接続が維持されます。
	同時画面キャプチャ	<p>PIP キャプチャをオンまたはオフにします。</p> <p> 同時画面キャプチャをオンに設定した場合、HDCP コンテンツは画面に表示されません。</p>

2 番目	3 番目	説明
詳細設定	電源オン時の入力ソースの設定	電源投入時のデフォルト ソースを設定します。この設定を行うと、電源オン時にロールまたはソースがオンになります。
	入力ソース自動切り替え	入力ソース自動切り替えを設定します。この機能を有効にすると、新しく接続されたソースが自動的に表示されます。
	PIP画面のデフォルトサイズ	PIP 画面のデフォルト サイズを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • 全画面 / 部分画面
	クローン製品	このデバイスの設定をエクスポートするか、他のデバイスからインポートします。
	自己診断	電子メール、LDAP、またはプリント サーバーで自己診断を実行します。自己診断を実行するには、USB ストレージ デバイスを接続する必要があります。  電子メール、LDAP、プリント サーバー、および本製品に保存されているその他の情報を含む詳細な自己診断レポートを USB デバイスにダウンロードできます。
セットアップの開始	製品の初回使用時に行ったような初期設定の手順を実行します。	

映像

2 番目	3 番目	説明																																		
キャリブレーション		お好みに合わせてバックライトの明るさを調整します。100 が最も明るい設定です。																																		
バックライト		色温度が設定されます。値と温度が同時に上がるため、青色の比率が上がります。 (範囲: 2800K - 16000K)																																		
ホワイト バランス	Rゲイン / Gゲイン / Bゲイン / Rオフセット / Gオフセット / Bオフセット / リセット	映像の色温度を調整し、白いオブジェクトをより明るく表示します。																																		
入力信号の拡張		<p>HDMI 接続の入力信号範囲を拡張します。</p> <p> 入力信号の拡張をオンに設定すると、60 Hz で最大 3840 x 2160 の解像度に対応します。</p> <p>入力信号の拡張をオフに設定すると、30 Hz で最大 3840 x 2160 の解像度に対応します。</p> <h3>UHD 入力信号のサポートされる解像度</h3> <p>UHD 入力信号のサポートされる解像度を確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 解像度: 3840 x 2160p、4096 x 2160p <p>入力信号の拡張 が オフ に設定されている場合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>フレーム レート (fps)</th> <th>色深度 / 彩度サンプリング</th> <th>RGB 4:4:4</th> <th>YCbCr 4:4:4</th> <th>YCbCr 4:2:2</th> <th>YCbCr 4:2:0</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>50 / 60</td> <td>8 ビット</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>入力信号の拡張 が オン に設定されている場合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>フレーム レート (fps)</th> <th>色深度 / 彩度サンプリング</th> <th>RGB 4:4:4</th> <th>YCbCr 4:4:4</th> <th>YCbCr 4:2:2</th> <th>YCbCr 4:2:0</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">50 / 60</td> <td>8 ビット</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>10 ビット</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>12 ビット</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	フレーム レート (fps)	色深度 / 彩度サンプリング	RGB 4:4:4	YCbCr 4:4:4	YCbCr 4:2:2	YCbCr 4:2:0	50 / 60	8 ビット	-	-	-	0	フレーム レート (fps)	色深度 / 彩度サンプリング	RGB 4:4:4	YCbCr 4:4:4	YCbCr 4:2:2	YCbCr 4:2:0	50 / 60	8 ビット	0	0	0	0	10 ビット	-	-	0	0	12 ビット	-	-	0	0
フレーム レート (fps)	色深度 / 彩度サンプリング	RGB 4:4:4	YCbCr 4:4:4	YCbCr 4:2:2	YCbCr 4:2:0																															
50 / 60	8 ビット	-	-	-	0																															
フレーム レート (fps)	色深度 / 彩度サンプリング	RGB 4:4:4	YCbCr 4:4:4	YCbCr 4:2:2	YCbCr 4:2:0																															
50 / 60	8 ビット	0	0	0	0																															
	10 ビット	-	-	0	0																															
	12 ビット	-	-	0	0																															

2 番目	3 番目	説明
HDMI 階調レベル		<p>黒のレベルを調整して、HDMI 映像の明るさとコントラストを最適化します。</p> <p> この機能は、HDMI ケーブルを使用して PC に接続し、ソース ウィンドウがオンになっている場合にのみ使用できます。</p>
画面共有 (有線) 解像度		<p>画面を共有するときの解像度を設定します (有線)。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 自動 / FHD / UHD
映像のリセット		<p>すべての映像の設定を工場出荷時の設定に戻します。</p>

サポート

2 番目	3 番目	説明
ソフトウェア更新		製品にインストールされているソフトウェアを更新します。
	今すぐ更新	更新ファイルをダウンロードしてソフトウェアを更新します。 <ul style="list-style-type: none">- オンライン アップデート<ul style="list-style-type: none">✎ インターネット接続が必要です。- USB デバイスで更新する<p>Samsung のウェブサイトから更新ファイルをダウンロードして USB デバイスに保存した後、USB デバイスを製品に接続してアップデートを行います。</p><ul style="list-style-type: none">✎ 更新ファイルを最上位フォルダに保存したことを確認してください。 <ul style="list-style-type: none">• 現在のバージョン: 製品にすでにインストールされているソフトウェアのバージョンです。
	自動更新	機器の電源を切ると、自動的にソフトウェア更新が開始されます。 <ul style="list-style-type: none">✎ インターネット接続が必要です。
Samsung 連絡先		機器についてサポートを受ける場合の連絡先情報を提供します。 <ul style="list-style-type: none">✎ Samsung 連絡先 に移動して、製品の モデルコード と ソフトウェアバージョン を確認します。
すべてリセット		全メニューのすべての項目を初期化します。

第7章

トラブルシューティングガイド

問題と解決策

サムスン電子ジャパンお客様相談ダイヤルにお問い合わせいただく前に、以下の手順で製品のテストを行ってください。問題が解決しない場合には、サムスンお客様相談ダイヤルにご連絡ください。

製品のボタンを操作しても製品の電源がオンまたはオフにならない場合は、Samsung 製リモコンまたは Samsung リモコン アプリケーションを使用してオンまたはオフにできます。

ソース ウィンドウ (HDMI) の問題	
HDMI ケーブルで製品と PC を接続しているときに、画面の四辺に空白部分が発生します。	画面に空白部分が発生するのは、製品側の問題ではありません。 PC またはグラフィック カードによって画面の空白部分が発生しています。問題を解決するには、グラフィック カードの HDMI 設定で画面サイズを調整します。 グラフィック カードの設定メニューに画面サイズを調整するオプションがない場合には、グラフィック カードのドライバを最新バージョンにアップデートします。 (画面設定の調整方法の詳細については、グラフィック カードまたはコンピュータのメーカーにお問い合わせください。)
画面の画像がゆがんで見える。	接続ケーブルを確認してください。Samsung 製以外のケーブルを使用した場合、互換性は保証されません。
画面がはっきりしない。画面がぼやけて見える。	解像度と周波数を推奨のレベルに設定します。
画面が安定せず震えて見える。	PC およびグラフィック カードの解像度と周波数が製品の対応する範囲に設定されていることを確認します。次に、プリセット タイミング モードを参照して、必要に応じて画面の設定を変更します。
画面の画像の左側に影や残像のようなものがある。	

ソース ウィンドウ (HDMI) の問題	
白が正しく白色に見えない。	映像 に移動して ホワイト バランス 設定を調整します。
製品が自動的にオフになる。	電源コードが製品とコンセントに正しく接続されていることを確認します。
画面表示が正常でないように見える。	エンコードされたビデオ コンテンツの場合、スポーツやアクション映画などのように動きの速いシーンでは映像が乱れることがあります。
	信号の出力レベルや画質が低い場合、映像が乱れることがあります。これは製品の不良ではありません。
	半径 1 メートル以内にモバイル デバイスがあると、アナログ製品やデジタル製品にノイズが発生することがあります。
明るさと色が正常でないように見える。	メニューから、☰ → 設定 → サポート → すべてリセット を選択して、画面をリセットしてみてください。
表示が不安定でフリーズする。	推奨解像度以外の解像度を使用している場合や信号が不安定の場合、画面がフリーズすることがあります。この問題を解決するには、PC の解像度を推奨解像度に変更します。
画面を全画面表示にできない。	縦向きでソース ウィンドウを全画面モードに設定すると、上部と下部の両方に黒いバーが表示されます。 横向きに変えてから、ソース ウィンドウを全画面モードに切り替えてください。

音声の問題	
音が出ない。	音量をチェックします。
音量が小さすぎる。	音量を調整します。 最大レベルにしても音量が小さい場合には、PC のサウンド カードまたはソフトウェア プログラムの音量を調整します。
ビデオの音声が聞こえない。	HDMI ケーブルまたは DP ケーブルを接続している場合、PC の音声出力の設定を確認します。 ソース機器を使用している場合 <ul style="list-style-type: none"> ソース機器の音声出力の設定を確認します。 (たとえば、ご使用のモニターが HDMI に接続されている場合、ビデオ出力デバイスの音声オプションを HDMI に変更する必要があります。) 電源ケーブルを機器に再接続してから機器を再起動します。
スピーカーにノイズがある。	信号の出力レベルが低いと音声が乱れることがあります。
ボリュームをミュートにしても音声が聞こえる。	メイン スピーカーの音声設定は、製品の内部スピーカーの設定とは別になっています。 製品のボリュームを変更したり、ミュートにしたりしても外部アンプ (デコーダ) には影響しません。

タッチ機能の問題

アイコンはタッチできますが、図画にタッチできません。	付属の製品専用のペンを使用してください。
HDMI 接続を使用しているとき、タッチが動作しません。	本製品のTOUCH OUTポートとPCのUSBポートが付属のUSBケーブルで接続されていることを確認してください。 <ul style="list-style-type: none">WM55R / WM65R<ul style="list-style-type: none">製品背面のHDMI IN 1 または HDMI IN 2 → TOUCH OUTトレイのHDMI IN 3 → TOUCH OUTWM85R<ul style="list-style-type: none">製品背面のHDMI IN 1 または DP IN → TOUCH OUTトレイのHDMI IN 2 → TOUCH OUT
2本のペンを使用していますが、うまく動作しません。	マルチタッチでは、2本のペンの間に十分なスペースがあることを確認してください。
画面のタッチが遅い、正確に反応しないなどの不具合があります。	画面の表面に異物がないことを確認します。 画面が壊れていないことを確認します。 製品が直射日光にさらされないようにします。 電源を切ってから電源を入れた場合は、タッチキャリブレーションが5秒間行われるため、画面をタップしないでください。

その他の問題	
製品からプラスチックのような匂いがする。	プラスチックの匂いは正常であり、時間が経つと匂わなくなります。
製品の端に小さな粒子が見える。	この粒子は製品の仕様です。不具合ではありません。
PC の解像度を変更しようとする、「定義された解像度は現在はサポートされていません。」というメッセージが表示される。	「定義された解像度は現在はサポートされていません。」というメッセージは、入力ソースの解像度が本製品の最大解像度を超えた場合に表示されます。 この問題を解決するには、PC の解像度を本製品でサポートされている解像度に変更します。
DVI-HDMI ケーブルを接続すると、HDMI モードでスピーカーから音声が聞こえない。	DVI ケーブルからは音声データは送信されません。
YCbCr 出力に対応している HDMI 機器で HDMI 階調レベルが正しく機能していない。	この機能は、外部デバイスの HDMI 信号が RGB 出力の場合にのみ機能します。
HDMI モードで音声が聞こえない。	画像の色が正しく表示されないことがあります。映像や音声が使用できないことがあります。この現象は、新しい HDMI 規格に対応していないソース機器を製品に接続している場合に起こります。

第 8 章 仕様

全般

✎ 水平周波数

1本の線を画面の左から右にスキャンするのに必要な時間を水平サイクルと呼びます。水平サイクルの逆数を水平周波数と呼びます。水平周波数は kHz 単位で測定します。

✎ 垂直周波数

本製品は、ひとつの画像を（蛍光灯のように）1秒間に何回も表示して、画面に映像を表示します。ひとつの画像が1秒間に繰り返し表示される回数を垂直周波数またはリフレッシュレートと呼びます。垂直周波数は Hz 単位で測定します。



<https://www.galaxymobile.jp/support/>

モデル名		WM55R	WM65R	WM85R
パネル	サイズ	55 クラス (54.6 インチ / 138.7 cm)	65 クラス (64.5 インチ / 163.9 cm)	85 クラス (84.5 インチ / 214.7 cm)
	表示範囲	1209.6 mm (H) x 680.4 mm (V)	1428.48 mm (H) x 803.52 mm (V)	1872.0 mm (H) x 1053.0 mm (V)
同期 (パネル仕様)	水平周波数	30 - 81 kHz		
	垂直周波数	48 - 75 Hz		
解像度	最適解像度	3840 x 2160		
	最大解像度			
電源		AC100-240V [~] 50/60Hz 標準電圧は国によって異なりますので、製品背面のラベルを参照してください。		
環境条件	動作時	温度 : 0 ° C - 40 ° C (32 ° F - 104 ° F) * ハウジングを取り付ける場合は内部温度が 40 ° C 以下に維持できるようにしてください。 湿度 : 10% - 80%、結露しないこと		
	保管時	温度 : -20 ° C - 45 ° C (-4 ° F - 113 ° F) 湿度 : 5% - 95 %、結露しないこと * 製品パッケージが未開封の場合の値です。		

-
- ✎ この製品の製造上の特質によって、パネルに表示される映像の中に約 100 万個に 1 個の割合 (1ppm) でピクセルが通常よりも明るく、または暗く表示される場合があります。これは製品の性能に影響を与えるものではありません。
 - ✎ この製品は、パネルの特性に応じて最適な画質を得るために、各画面サイズについて 1 種類の解像度のみ設定することができます。指定以外の解像度を使用すると、画質が低下することがあります。これを避けるには、お使いの製品について指定された最適な解像度を選択することをお勧めします。
 - ✎ 装置仕様の詳細については、Samsung の Web サイトを参照してください。

プリセット タイミング モード

以下の規格の信号モードに含まれる信号が PC から送信されてきた場合には、画面は自動的に調整されます。PC から送信される信号が標準モードと異なる場合、画面が表示されない場合があります。このような場合は、グラフィック カードのユーザー マニュアルを参照して、以下の表のとおり設定を変更してください。

解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	ピクセル クロック (MHz)	同期極性 (H/V)	ポート
					HDMI IN
IBM, 720 x 400	31.469	70.087	28.322	-/+	○
MAC, 640 x 480	35.000	66.667	30.240	-/-	○
MAC, 832 x 624	49.726	74.551	57.284	-/-	○
MAC, 1152 x 870	68.681	75.062	100.000	-/-	○
VESA CVT, 3840 x 2160RB	110.500	49.977	442.000	+/-	-
VESA CVT, 3840 x 2160RB	133.313	59.997	533.250	+/-	-
VESA DMT, 640 x 480	31.469	59.940	25.175	-/-	○
VESA DMT, 640 x 480	37.861	72.809	31.500	-/-	○
VESA DMT, 640 x 480	37.500	75.000	31.500	-/-	○
VESA DMT, 800 x 600	37.879	60.317	40.000	+/+	○
VESA DMT, 800 x 600	48.077	72.188	50.000	+/+	○
VESA DMT, 800 x 600	46.875	75.000	49.500	+/+	○
VESA DMT, 1024 x 768	48.363	60.004	65.000	-/-	○
VESA DMT, 1024 x 768	56.476	70.069	75.000	-/-	○
VESA DMT, 1024 x 768	60.023	75.029	78.750	+/+	○
VESA DMT, 1152 x 864	67.500	75.000	108.000	+/+	○
VESA DMT, 1280 x 720	45.000	60.000	74.250	+/+	○
VESA DMT, 1280 x 800	49.702	59.810	83.500	-/+	○
VESA DMT, 1280 x 1024	63.981	60.020	108.000	+/+	○
VESA DMT, 1280 x 1024	79.976	75.025	135.000	+/+	○
VESA DMT, 1366 x 768	47.712	59.790	85.500	+/+	○


解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	ピクセル クロック (MHz)	同期極性 (H/V)	ポート
					HDMI IN
VESA DMT, 1440 x 900	55.935	59.887	106.500	-/+	○
VESA DMT, 1600 x 900RB	60.000	60.000	108.000	+/+	○
VESA DMT, 1680 x 1050	65.290	59.954	146.250	-/+	○
VESA DMT, 1920 x 1080	67.500	60.000	148.500	+/+	○
VESA DMT, 2560 x 1440RB	88.787	59.951	241.500	+/-	○
CTA-861, 720(1440) x 576i	15.625	50.000	27.000	-/-	○
CTA-861, 720(1440) x 480i	15.734	59.940	27.000	-/-	○
CTA-861, 720 x 576	31.250	50.000	27.000	-/-	○
CTA-861, 720 x 480	31.469	59.940	27.000	-/-	○
CTA-861, 1280 x 720	37.500	50.000	74.250	+/+	○
CTA-861, 1280 x 720	45.000	60.000	74.250	+/+	○
CTA-861, 1920 x 1080i	28.125	50.000	74.250	+/+	○
CTA-861, 1920 x 1080i	33.750	60.000	74.250	+/+	○
CTA-861, 1920 x 1080	27.000	24.000	74.250	+/+	○
CTA-861, 1920 x 1080	28.125	25.000	74.250	+/+	○
CTA-861, 1920 x 1080	33.750	30.000	74.250	+/+	○
CTA-861, 1920 x 1080	56.250	50.000	148.500	+/+	○
CTA-861, 1920 x 1080	67.500	60.000	148.500	+/+	○
CTA-861, 3840 x 2160	54.000	24.000	297.000	+/+	○
CTA-861, 3840 x 2160	56.250	25.000	297.000	+/+	○
CTA-861, 3840 x 2160	67.500	30.000	297.000	+/+	○
CTA-861, 3840 x 2160	112.500	50.000	594.000	+/+	○
CTA-861, 3840 x 2160	135.000	60.000	594.000	+/+	○
CTA-861, 4096 x 2160	54.000	24.000	297.000	+/+	○
CTA-861, 4096 x 2160	67.500	30.000	297.000	+/+	○
CTA-861, 4096 x 2160	112.500	50.000	594.000	+/+	○
CTA-861, 4096 x 2160	135.000	60.000	594.000	+/+	○

第 9 章 付録

サムスン製品に関するお問合せ

 詳細については、Web サイトからユーザー マニュアルをダウンロードしてください。

サムスン電子ジャパンお客様相談ダイヤル

 **0120-327-527**

受付時間: 平日(土・日・祝日を除く) 9:00-17:00

 予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

有料サービスに関する責任（お客様の負担）

 サービスをご希望の場合、以下の条件に該当するときは、保証内容に関わらず、サービス技術者の出張費をいただくことがあります。

製品に異常がない場合

製品の清掃、調整、説明、再設置など

- サービス技術者が、製品の使用方法の説明、または、製品の分解を必要としないオプション類の調整の依頼を受けた場合。
- 外部環境（インターネット、アンテナ、有線信号など）による異常の場合
- 購入後に初めて製品を設置した後に、製品の再設置や追加のデバイスの接続を行う場合
- 別の場所や別の家に製品を再設置する場合
- 他社製品の使用方法に関する説明をお求めの場合。
- ネットワークまたは他社のプログラムの使用方法に関する説明をお求めの場合
- 製品に対するソフトウェアのインストールやセットアップをお求めの場合
- サービス技術者が製品内部のホコリや異物の除去または清掃を行う場合
- 製品を通信販売やインターネット ショッピングで購入後、追加で設置作業をお求めの場合


お客様の過失によって製品が損傷した場合

お客様の誤った使用または修理による製品の損傷

以下の場合、製品が損傷することがあります。

- 外部から衝撃を加えたり、落としたりした場合
- Samsung の認証を受けていないサプライ品または別売り製品を使用した場合
- Samsung Electronics Co., Ltd. の依頼サービス会社や協力会社の技術者以外の者が修理を行った場合
- お客様自身で製品の改造や修理を行った場合
- 規定外の電圧や電源を使用した場合
- ユーザー マニュアルに記載されている“注意”を守らなかった場合

その他

- 製品が自然災害で故障した場合。（落雷、火災、地震、洪水被害など）
 - 消耗部品をすべて使い切った場合。（バッテリー、トナー、蛍光灯、ヘッド、パイプレータ、ランプ、フィルタ、リボンなど）
-  製品に異常がないにも関わらずサービスをお求めの場合、別途サービス料金が発生することがあります。まずはユーザー マニュアルをお読みください。

残像の焼き付き防止

残像の焼き付きとは?

パネルが通常動作していれば、残像の焼き付きは発生しません。通常動作とは、ビデオパターンが連続して変化していることを意味します。パネルに静止したパターンを長時間表示すると、液晶を制御するピクセルの電極間にわずかな電圧の差が生じる場合があります。

このような電極間の電圧の差は時間の経過と共に拡大し、液晶は薄くなります。このような状態が発生すると、パターンが変化した後も前の画像が画面上に残ることがあります。

- ⊘ 本情報は残像の焼き付きを防止するためのアドバイスです。静止画面を長時間表示し続けると、残像の焼き付きが起こることがあります。この問題は保証の対象外です。

推奨される防止策

静止画面を長時間表示し続けると、残像の焼き付きや染みが発生することがあります。長期間使用しない場合は、製品の電源を切るか、省電力モードを有効にするか、またはスクリーンセーバーを実行してください。

ライセンス



The terms HDMI and HDMI High-Definition Multimedia Interface, and the HDMI Logo are trademarks or registered trademarks of HDMI Licensing Administrator, Inc. in the United States and other countries.

オープンソースライセンスに関する注意

オープンソースソフトウェアを使用している場合、製品メニューからオープンソースライセンスの内容を確認できます。オープンソースライセンスに関する注意は、英語でのみ記載されています。

オープンソースライセンスに関する注意については、Samsung のお客様相談センターまたは電子メールで oss.request@samsung.com までお問い合わせください。
